

# 令和4年度益田地域保健医療対策会議

日時；令和5年3月17日（金）

14:00～15:30

会場；益田合同庁舎 大会議室

開会あいさつ

委員長・副委員長の選任について

## 【議 事】

### 1 島根県保健医療計画(益田圏域編)の進捗状況について

#### 1) 益田圏域の健康指標

資料1

#### 2) 益田圏域保健医療計画(益田圏域編)の各機関の取組状況

資料2

#### 3) 益田地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会の報告

資料3-1

##### ①病床機能報告の状況

資料3-2

##### ②医療連携推進コーディネーターの活動報告

資料3-3

### 2 新型コロナウイルス感染症患者発生状況について

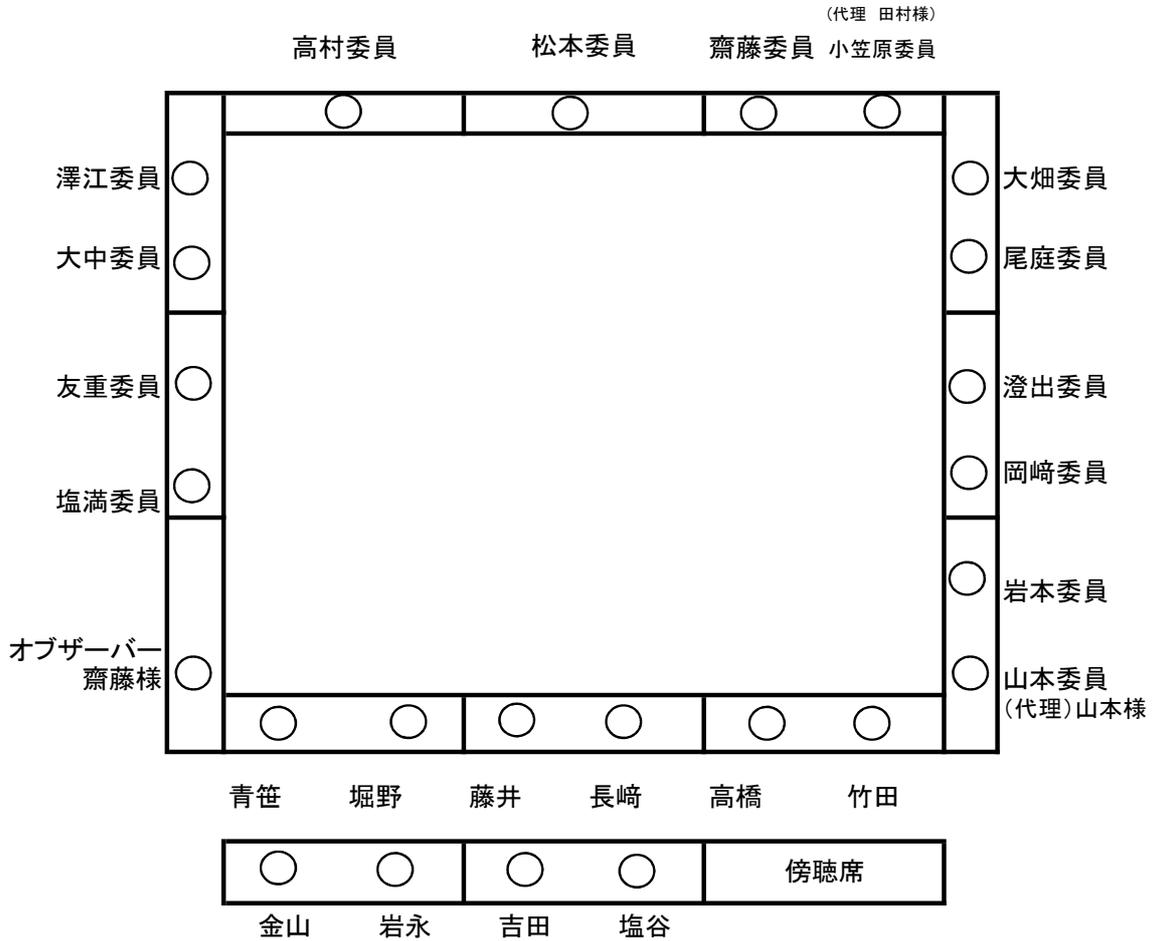
資料4

### 3 その他

・令和5年度は、第8次保健医療計画・医師確保計画・外来医療計画の策定作業の予定

まとめ

# 令和4年度 益田地域保健医療対策会議 (地域医療構想調整会議全体会議)



## テレビ会議参加者

- 平方委員(松ヶ丘病院)
- 下森委員(津和野町役場)
- 内谷委員(津和野町社会福祉協議会)
- 泉委員(島根県訪問看護ステーション協会益田支部)

## オブザーバー

- 児玉氏(しまね地域医療支援センター)

益田地域保健医療対策会議

委員名簿

地域医療構想調整会議全体会議

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

所属団体	職名	氏名	備考	出欠
益田市医師会	会長	松本 祐二		出
鹿足郡医師会	会長	小笠原 哲三	代理；田村俊則	出
益田鹿足歯科医師会	会長	齋藤 寿章		出
島根県薬剤師会益田支部	支部長	高村 洋		出
島根県看護協会益田支部	支部長	重岡 功治		欠
益田地区栄養士会	会長	岩本 恭子		欠
益田赤十字病院	院長	木谷 光博		欠
松ヶ丘病院	理事長	平方 敬子	Web	出
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	支部長	泉 真由美	Web	出
島根県保険者協議会	ダイワボウレーヨン（株）益田工場	岡崎 光敏	新	出
益鹿食生活改善推進連絡会	会長	大畑 まきみ		出
益田圏域健康長寿しまね推進会議	会長	末成 弘明		欠
津和野町社会福祉協議会	会長	内谷 澄男	Web	出
益田の医療を守る市民の会	会長	尾庭 昌喜		出
益田市連合婦人会	会長	澄出 久美子		出
住民代表（益田市）	益田市連合自治会長会 会長	澤江 佑三		出
住民代表（津和野町）	津和野町連合婦人会長	大中 八臣	新	出
住民代表（吉賀町）	吉賀町健康づくり推進協議会長	友重 博	新	出
益田地区広域市町村圏事務組合	消防長	塩満 謙司	新	出
益田市	益田市長	山本 浩章	代理；山本ひとみ	出
津和野町	津和野町長	下森 博之	Web	出
吉賀町	吉賀町長	岩本 一巳		出
益田保健所	所長	長崎 みゆき		

【オブザーバー】

しまね地域医療支援センター	事務局長	児玉 信広	Web	出
益田市医師会 地域医療介護連携統括部	統括部長	齋藤 裕子	説明者	出

【事務局】

益田保健所	総務保健部長	藤井 麻由美		
	環境衛生部長	高橋 起男		
	健康増進課長	堀野 かおり		
	衛生指導課長	竹田 宏樹		
	地域ケアスタッフ	岩永 千登勢		
	医事・難病支援課長	青笹 美香		
	医事・難病支援課 主任	吉田 多恵		
	医事・難病支援課 主任保健師	金山 愛梨		
	医事・難病支援課 診療放射線技師	塩谷 葵		

## 益田地域保健医療対策会議設置要綱

### (目的)

第1条 県民が、生涯にわたり健康で、必要なときに適切な保健・福祉サービスを利用でき、また、いつでもどこでも安心して質の高い医療を受けられるよう、地域における保健医療に関する諸課題を検討し、その充実を図るために、益田地域保健医療対策会議（以下「対策会議」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 対策会議は、次に掲げる事項について協議、検討する。

- (1) 地域における保健医療体制の構築に関すること。
- (2) 保健医療計画の地域における進行管理に関すること。
- (3) その他、地域における保健医療に関する諸課題の検討に関すること。

### (組織)

第3条 対策会議の委員は、地域の中核的な病院の病院長、市郡医師会長、市町村長、消防本部消防長、保健・福祉等の関係諸機関の長又はこれに準ずる職の者、市町推薦による地域住民、保健所長及びその他関係者をもって構成する。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は2年以内とし、再任を妨げない。なお、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 改選時において、次期役員が選出されるまでの間は、前役員が引続き就任するものとする。

### (運営)

第5条 対策会議は次により運営する。

- (1) 対策会議には、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。
- (2) 対策会議の議長は、委員長が務める。
- (3) 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

### (作業部会)

第6条 地域における保健医療体制の構築に当たり、諸課題の検討を行うために、必要に応じて作業部会を設けることができる。

### (庶務)

第7条 対策会議及び作業部会の庶務は、益田保健所において処理する。

### (その他)

第8条 この要綱で定めるものの外、対策会議及び作業部会の運営に関して必要な事項は別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成18年8月1日から施行する。

### 附 則

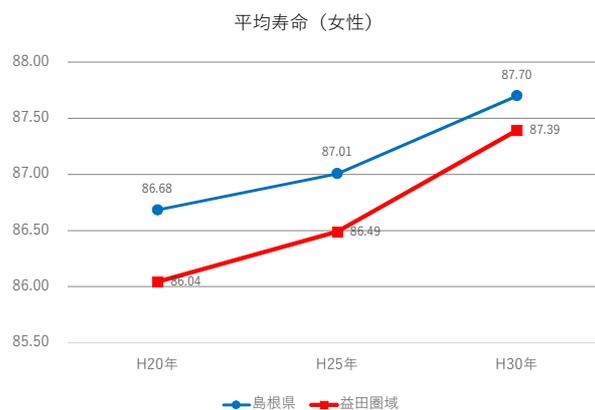
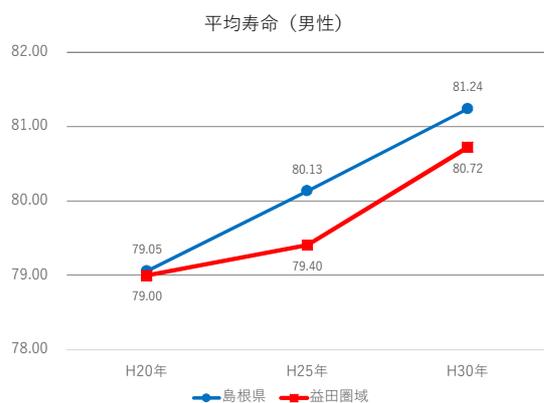
改正後の要綱は、平成20年8月25日から施行する

資料1

# 益田圏域の健康指標

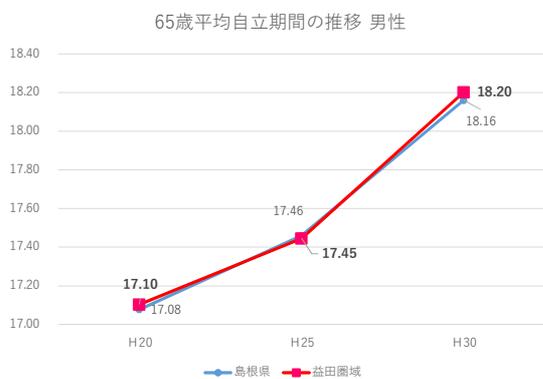
島根県益田保健所

## 平均寿命



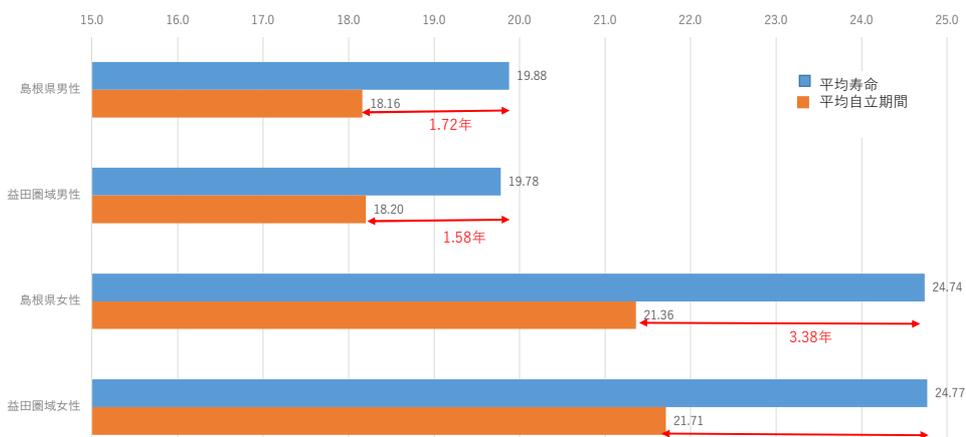
※データ：島根県健康指標データベースシステム  
表示年を中心とする5年平均

## 65歳平均自立期間



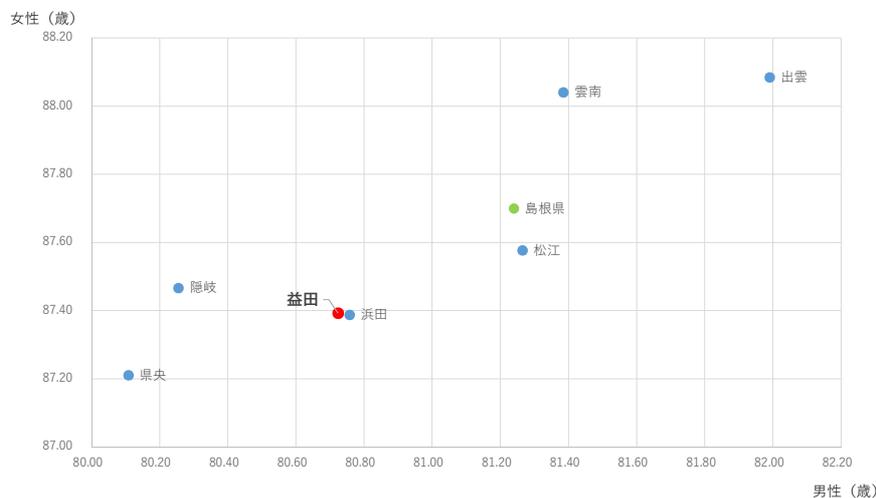
※データ：島根県健康指標データベースシステム  
表示年を中心とする5年平均

## 65歳の平均寿命と平均自立期間



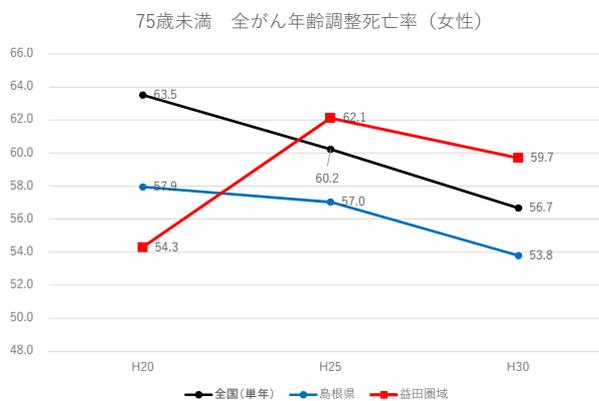
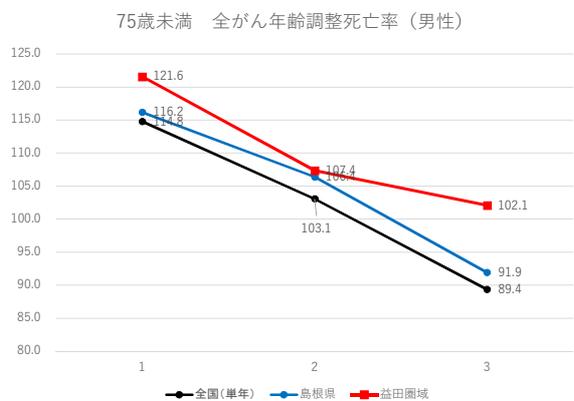
※データ：島根県健康指標データベースシステム  
平成30年（2018年）中心とする5年平均

## 圏域別男女別平均寿命



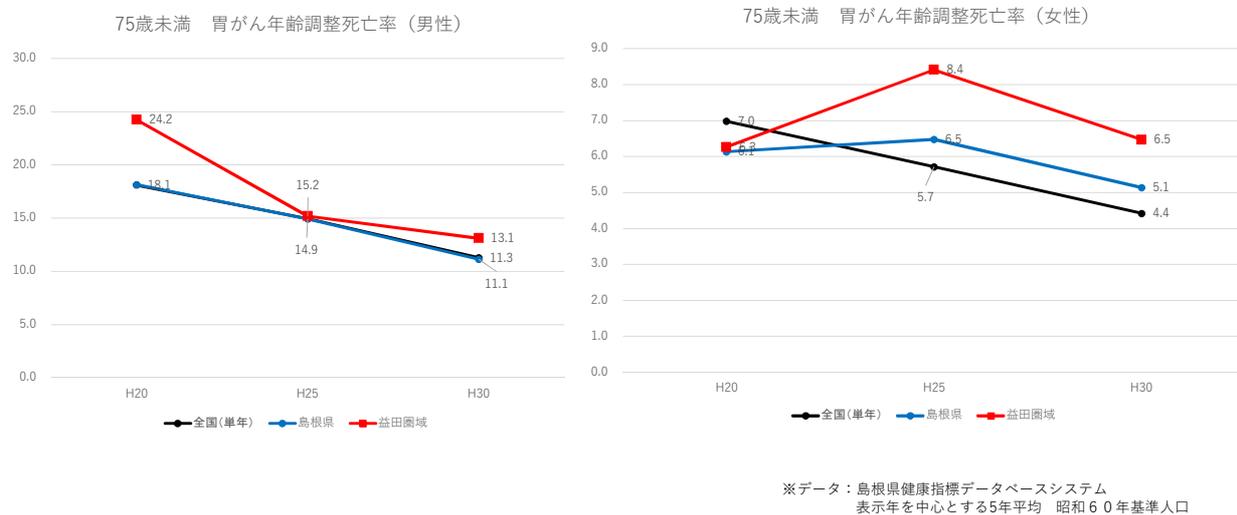
※データ：島根県健康指標データベースシステム  
平成30年(2018年)中心とする5年平均

## 75歳未満 全がん年齢調整死亡率

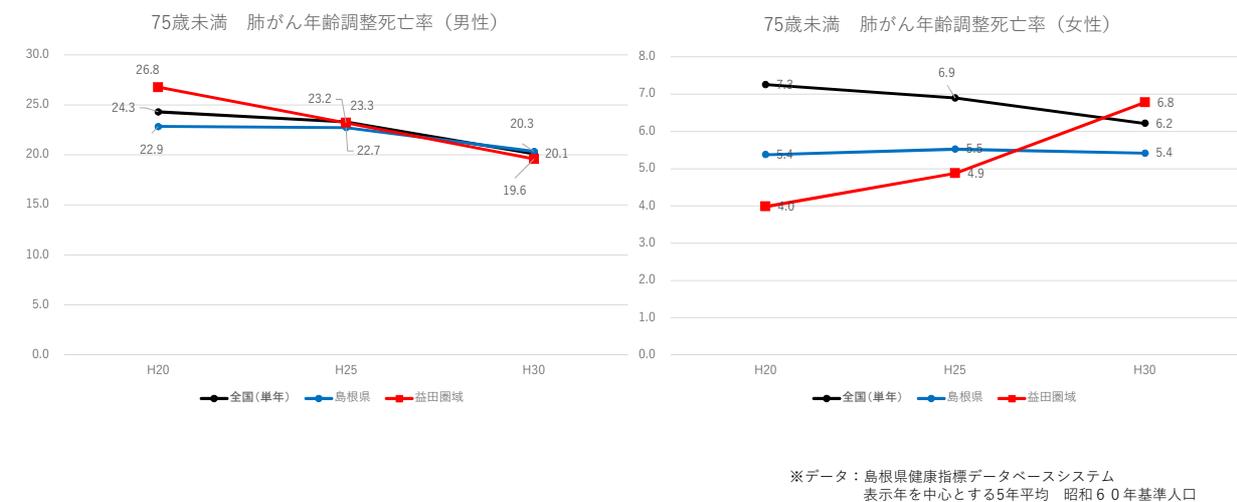


※データ：島根県健康指標データベースシステム  
表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

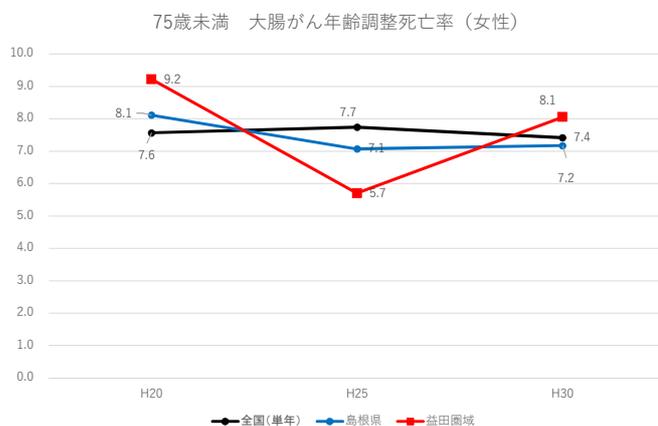
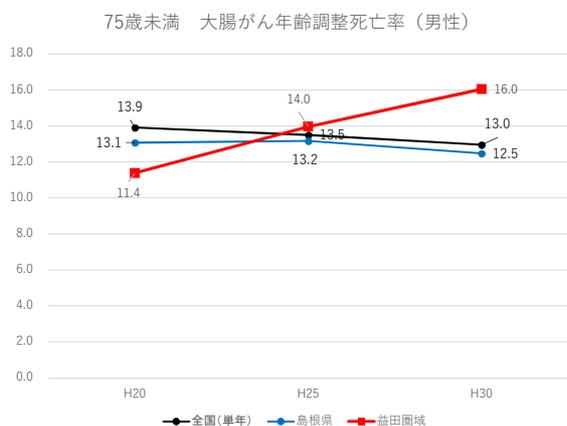
## 75歳未満 胃がん年齢調整死亡率



## 75歳未満 肺がん年齢調整死亡率

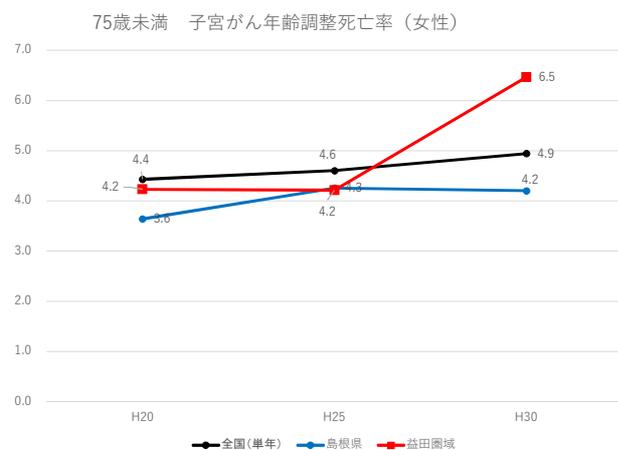


## 75歳未満 大腸がん年齢調整死亡率

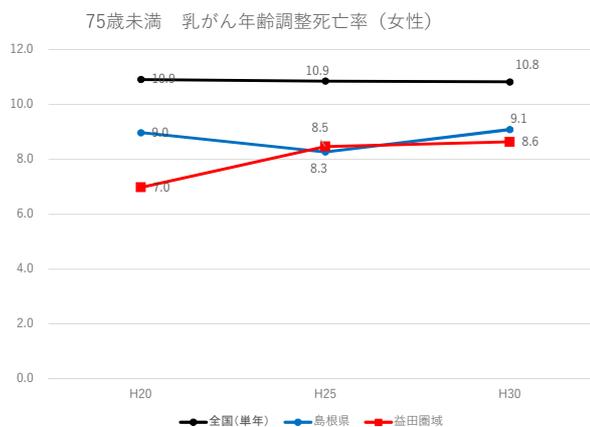


※データ：島根県健康指標データベースシステム  
表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

## 75歳未満 子宮がん年齢調整死亡率

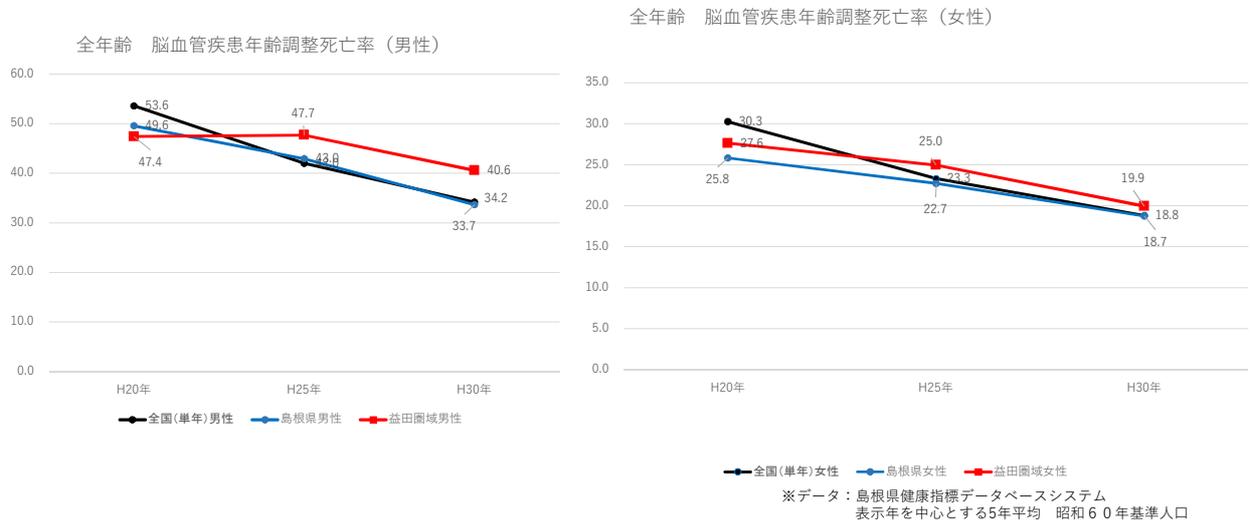


## 75歳未満 乳がん年齢調整死亡率



※データ：島根県健康指標データベースシステム  
表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

# 全年齡 脳血管疾患年齢調整死亡率



## R3 圏域別年齢調整発症率 (昭和60年基準人口)

年齢調整発症率を圏域別に見ると、**県平均より高かったのは、男性では出雲、益田、松江、隠岐圏域であり、女性では、出雲、隠岐、松江、浜田圏域であった(図4-1)。**

**性別初発再発別にみると、男性の初発は益田、隠岐、出雲圏域が高く、再発は県央、松江、出雲圏域が高かった。女性の初発は益田、松江、出雲圏域が高く、再発は隠岐、出雲、浜田圏域が高かった(図4-2、4-3)。**

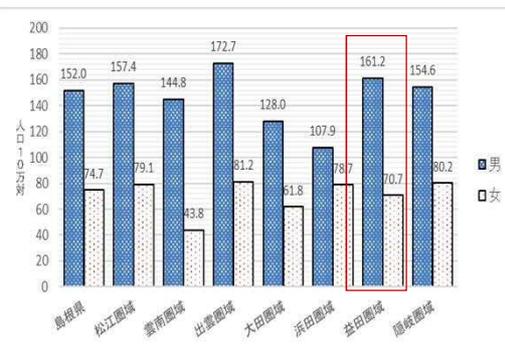


図4-1 圏域別年齢調整発症率(昭和60年基準人口)

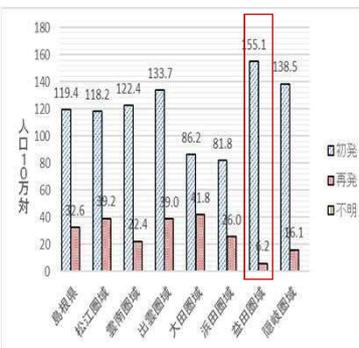


図4-2 圏域別年齢調整発症率(男性)

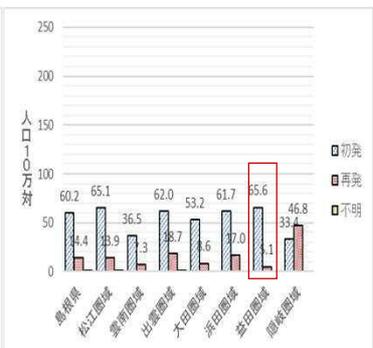
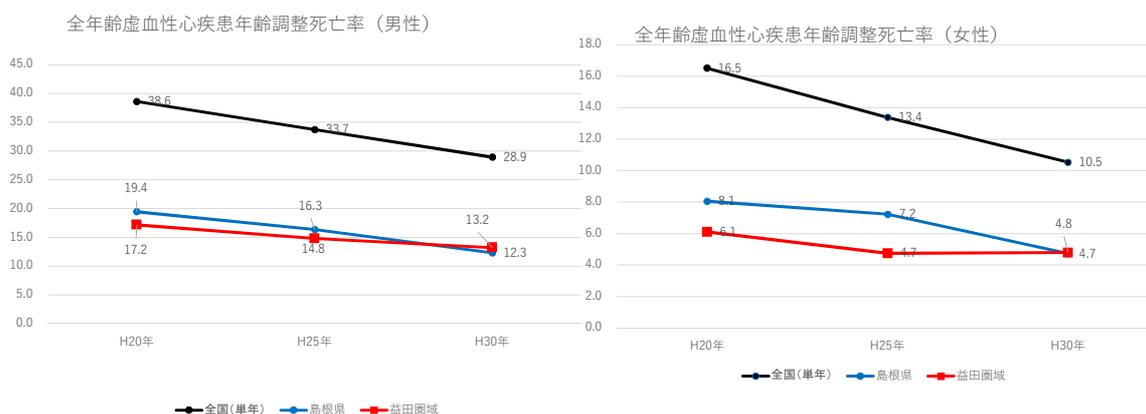


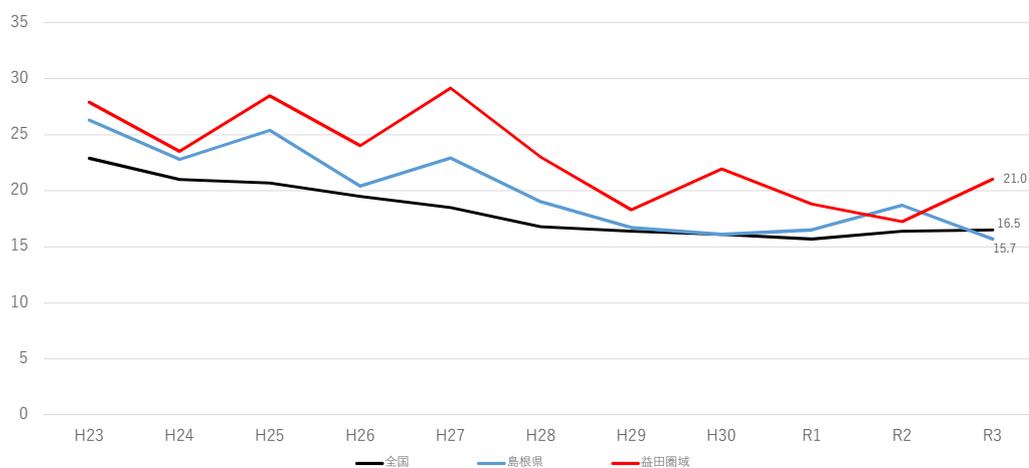
図4-3 圏域別年齢調整発症率(女性)

# 全年齡 虚血性心疾患年齢調整死亡率



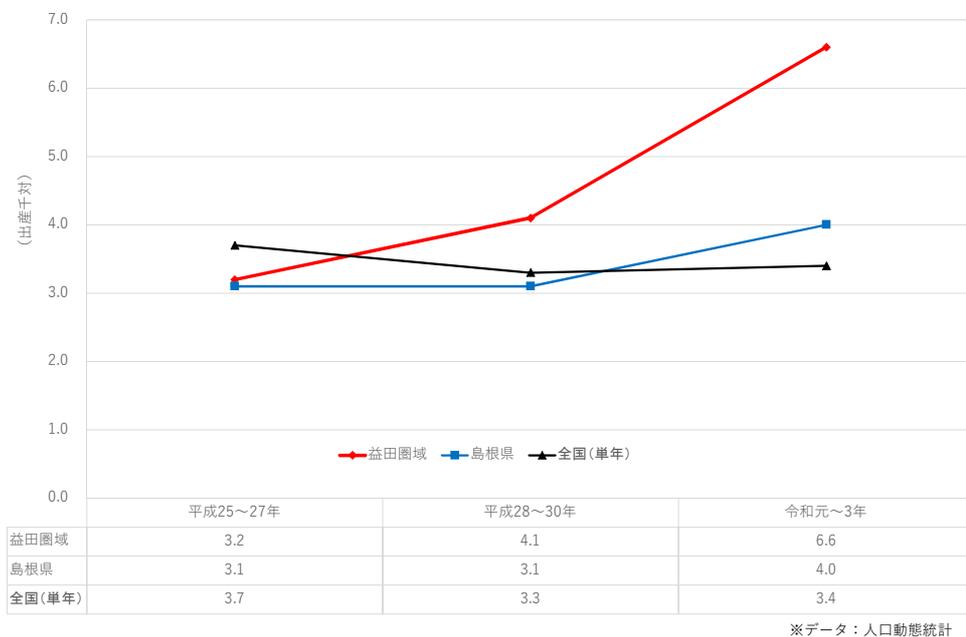
※データ：島根県健康指標データベースシステム  
表示年を中心とする5年平均 昭和60年基準人口

# 自殺死亡率

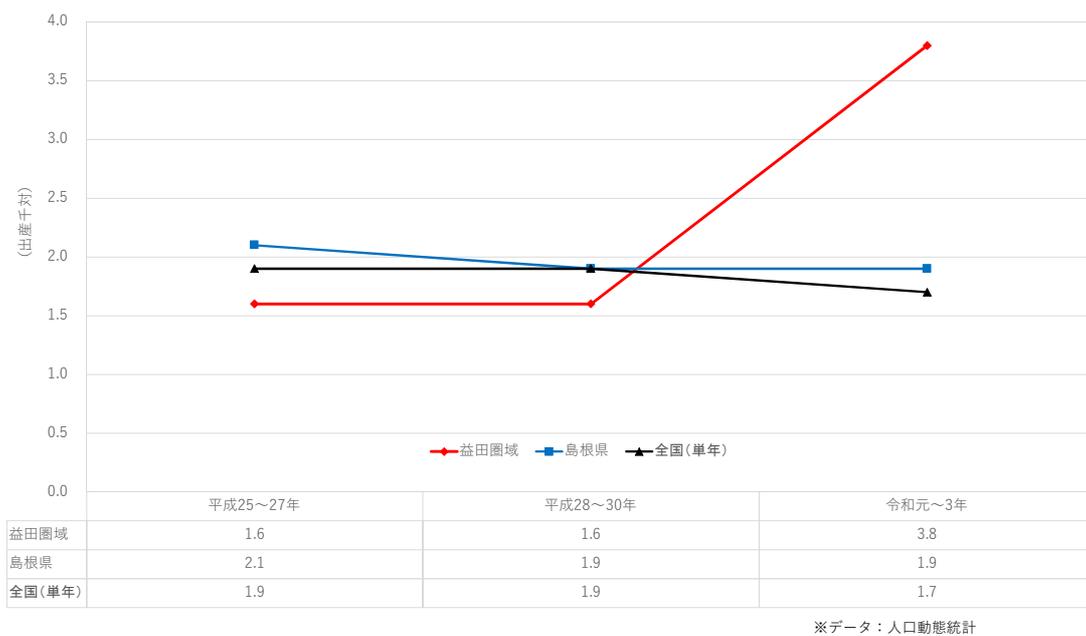


※データ：人口動態統計

## 周産期死亡率の推移



## 乳児死亡率の推移



## 各関係機関の取組

令和4年12月末現在

益田地域保健医療対策会議

# 目次

## 第5章 医療提供体制の現状、課題及び施策の方向

### 第1節 住民・患者の立場に立った医療提供体制の構築

- 1. 医療連携体制の構築 …1～2
- 2. 医療に関する情報提供の推進 …3

### 第2節 疾病・事業ごとの医療連携体制の現状、課題及び施策の方向

- 1. がん …4～6
- 2. 脳卒中 …7～9
- 3. 心筋梗塞等の心血管疾患 …10～11
- 4. 糖尿病 …12～13
- 5. 精神疾患 …14～16
- 6. 救急医療 …17
- 7. 災害医療 …18
- 8. 地域医療 …19～20
- 9. 周産期医療 …21
- 10. 小児救急を含む小児医療 …22
- 11. 在宅医療 …23～24

### 第3節 その他の医療提供体制の整備充実

- 1. 緩和ケア及び人生の最終段階における医療 …25
- 2. 医薬分業 …26
- 3. 医薬品等の安全性確保 …27
- 4. 臓器等移植 …28

### 第4節 医療安全の推進 …28

## 第6章 健康なまちづくりの推進

- 第1節 健康長寿しまねの推進 …29～30
- 第2節 健やか親子しまねの推進 …31～32
- 第3節 高齢者の疾病予防・介護予防対策 …33～34
- 第4節 難病等保健・医療・福祉対策 …35
- 第5節 感染症保健・医療対策 …36～37
- 第6節 食品の安全確保対策 …38
- 第7節 健康危機管理体制の構築 …39

## 第7章 保健医療従事者の確保及び医療・保健・福祉情報システムの構築

- 第1節 保健医療従事者の確保・育成と資質の向上
  - 第2節 医療・保健・福祉情報システムの構築と活用
- } …40

## ①医療連携体制の構築

団体名	令和4年度の実施状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介率84.9%、逆紹介率63.7%。</li> <li>・医師会病院、津和野共存病院、六日市病院と合同で、新興感染症等の発生を想定した訓練を実施した。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努めた。</li> <li>・行政等との連携を密にし、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応を行う。</li> <li>・地域内完結の向上を目指し、かかりつけ医と連携強化を図った。（在宅医療後方支援病院の円滑運用）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養支援を益田保健所、益田日赤と連携し行った。</li> <li>・病床の機能分化に向けた医療連携推進コーディネーター配置事業を継続して実施している。</li> </ul>
鹿足郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田地域保健医療対策会議・その他連絡会議等に参加し、医療機関連携の役割分担に理解を深め、周知を図る。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携実務者会議へ出席し、医療関係者と情報交換を行った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津和野町コミュニティドクター等による、まめネット登録への呼びかけを実施。</li> </ul>
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係医療機関との連携を図り、各病院への往診等を進めた。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まめネット加入促進、MCSの利用促進している。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まめネット利用開始。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田地域保健医療対策会議及び同医療・介護連携部会において、圏域地域医療構想の進捗について検討を進めている。医師会病院は、R2年279床からR3年10月より253床となり、地域包括ケア病床を2階に集約した。また、六日市病院では、R3年度で六日市学園が閉校した関係で、看護師が徐々に減少することが予想されることから、今後の病床機能について検討しているところである。R4年度10月より、療養病床が11床減少。また、併設する老人保健施設の定員を縮小して運用している。</li> <li>・益田圏域は他圏域に比べ、まめネットの普及率は低い、活用が進められている（益田日赤と津和野共存病院と津和野町、益田日赤と六日市病院、吉賀町訪問看護ステーションが繋がりがつつある）。R4年10月末現在、加入施設：27（病院5、診療所10、歯科診療所2、薬局4、訪問看護3、介護施設3）。加入者は、4,542人（圏域人口の8.07%）全県は人口の10.44%。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年4月より、新たに内科医を採用し、身体治療の強化に取り組む。</li> <li>・島根大学精神科より、1名の後期研修医の派遣を受け、常勤医の負担軽減と、研修医の教育体制を強化する。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まめネットの利用継続、促進</li> </ul>

益田保健所

- ・今後も引き続き地域の実情に応じた、病床機能について情報共有しながら協議していくとともに、圏域内の医療提供体制、医療連携体制について取組みを進める。また、六日市病院の動向については、随時、把握していく必要がある。
- ・益田圏域全体へ、まめネットを広めるため、各医療機関へ活用事例等の情報提供の機会を継続していく必要がある。

## ②医療に関する情報提供の推進

団体名	令和4年度の実施状況
益田の医療を守る市民の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田の医療に関する認識を深めるための啓発活動として、「<b>ますだ健康ダイアル24</b>」を作成し、関係者に配布した。</li> </ul>
津和野町の医療を守り支援する会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該年度の活動状況等を掲載したパンフレットを作成し、町内各戸配布する。</li> </ul>
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上への病院指標の公開</li> <li>・診療録開示、<b>まめネット参加者増加への取組</b></li> </ul>
益田市 津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市広報やホームページ及び告知放送による情報提供を行った。</li> <li>・住民組織「津和野町の医療を守り支援する会」に対し、津和野町の医療状況等の情報提供を定期的に行っている。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県医療機能システムへの情報更新。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアルしたホームページを活用し、正確で有益な情報の掲載を行った。</li> <li>・インスタグラムを開設し、情報提供を行い、幅広い情報提供の推進を行った。</li> <li>・会員医療機関向けのグループウェアの活用を促進し、行政関係の通達文書等の閲覧ができるようシステムを構築し、迅速な情報提供、情報共有を行った。</li> </ul>
鹿足郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の対策について、最新情報を共有し、提供。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「益田市の医療を守る市民の会」「津和野町の医療を支援する会」や「がんサロン」等に、求めに応じ支援をしている。</li> <li>・島根県医療機能情報システムを随時更新している。</li> <li>・住民からの医療相談については、医療安全相談窓口で対応している。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
各団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の事項を継続。</li> </ul>

### ③がん

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療ソーシャルワーカーが「がん相談実務担当者会」に参画。がんサロン、がんピアサポーターの活動支援。</li> <li>・がん診療連携推進病院、がん診療連携拠点病院に準じる病院として手術、薬物治療を行う。</li> </ul>
津和野町の医療を守り支援する会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津和野共存病院の飯島副院長を講師に、町民に向けたがんの予防や闘病体験に関する研修会を開催する。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんミニドックや休日に検診日を設け受診しやすい体制を整えた。</li> <li>・特定健康診査とセットで、がん検診を実施した。</li> <li>・地区健康づくりの会活動や公民館事業に併せて、チラシ配布等がん検診受診勧奨を行った。</li> <li>・県の未受診者対策事業を活用し、国保加入者で40～60歳で過去4年不 定期受診者及び未受診者へ大腸がん検診受診勧奨を行った。</li> <li>・25～29歳で前年度と当年度未受診者へ子宮頸がん検診受診勧奨を行 った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対策型5がん検診の実施及び受診者に啓発グッズの配布。精密検査未 受診者勧奨。広報等でがん対策に関する記事掲載（がん征圧月間/がん 検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン/小児がん患者交通費助 成事業等）</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸がん検診未受診者対策事業（検診料無料化、受診勧奨通知事業）</li> <li>・小中学校でのがん教育（6校で実施予定）</li> <li>・当事者（ゆめサロン）月1回：コロナで休止中</li> <li>・がんに関するデータ分析の実施</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん治療の支持療法としての口腔機能管理の普及啓発。</li> <li>・島根県がん教育外部講師養成研修事業へ参加予定。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看取り2件。</li> </ul>

益鹿食生活改善

<益田市>

- ・生活習慣病予防、重症化予防のためパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。
- ・市のがん検診の会場で、壮年期の女性に減塩チラシ・缶詰・レシピを配布し、減塩の普及啓発に取り組んだ。
- ・近所の方の自宅へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定実施。

<津和野町>

- ・家庭訪問による味噌汁塩分調査。
- ・事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。
- ・地区公民館祭りで減塩をテーマに塩分量の展示。
- ・地区で「はじめよう減塩」のリーフレットを配布し、減塩の話をした。

<吉賀町>

- ・働く人のための健康づくり応援事業を利用して、小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。
- ・各家庭を訪問し、味噌汁の塩分測定を実施。
- ・味噌汁の塩分測定の実施。

益田保健所

- ・がん征圧月間（9月）や集中キャンペーン月間（10月）では、様々な機会にリーフレットや啓発グッズを配布、ポスター展示をした。
- ・がん予防として重要なたばこ対策、栄養、運動等生活習慣の改善については、益田圏域健康長寿しまね推進事業やしまね健康寿命延伸プロジェクト事業の中で啓発をしている。
- ・各市町の今年の計画や状況・課題をヒアリングし、意見交換を行った。
- ・がんサロンの運営について、益田日赤及び関係市町と連携・支援をしている。益田市では新たに「がん患者のつどい 益田よつば会」が発足している。
- ・益田日赤で開催される緩和ケア事例検討会に出席し、地域の取組について情報提供をした。
- ・益田市をモデルとした子宮がん検診受診率向上事業の検討会へ参加し、データ分析や情報提供を行い、今後の方向性について検討。
- ・がん予防として重要な受動喫煙対策については、児童・生徒向けパンフレットを管内養護部会にて紹介した。また、依頼のあった学校へ、がん・たばこに関する啓発物を配布した。

団体名

今後の計画等

益鹿歯科医師会

- ・口腔機能管理の普及啓発と拡充。
- ・島根県がん教育外部講師養成研修事業の参加者を増やす。

島根県訪問看護ステーション協会益田支部

- ・在宅看取りの継続。

益田市

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安心して受診できる体制整備を行う。
- ・効果的な受診勧奨を検討し、実施する。

吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析に基づき、より効果的ながん検診実施体制の検討と構築。</li> <li>・大腸がんを中心としたがん検診・精密検査の受診率向上に向けた取組の強化。</li> <li>・がん治療等に伴う定期予防接種再接種に係る費用助成制度の創設（県補助事業）</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>&lt;益田市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策を講じ、引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら、活動を充実させる。特に、女性特有のがん検診においては、市と協力し受診率向上へ向け支援する。</li> <li>・食改自身が学習し、市民へ伝達する。</li> </ul> <p>&lt;津和野町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策をとりながら、継続。</li> </ul> <p>&lt;吉賀町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策をとりながら、まず、食改自身が学習し、それを町民に伝達する活動を継続する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策を講じ引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら活動を充実させる。特に、女性特有のがん検診においては、市と協力し受診率向上へ向け支援する。</li> <li>・益田日赤の緩和ケアアドバイザー連絡会、事例検討会に参加する。</li> </ul>

#### ④脳卒中

団体名	令和4年度の実施状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経内科学会、一次脳卒中センター指定。</li> <li>・脳卒中地域連携パスを医師会病院との間で実施中。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果と脳ドック結果から、脳卒中発症リスク保有者を対象として、脳卒中予防講座を開催した。</li> <li>・益田市スマートヘルス推進事業（IoTを活用した血圧管理・家庭血圧測定の普及啓発）について事業内容を周知し、新規参加者・事業者の募集を行った。また、健康づくりフェスティバルで講演会を開催した。</li> <li>・脳卒中発症者への訪問指導または電話相談を実施した。</li> <li>・脳卒中予防の共通教材を作成し、各地区で健康教室を実施した。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳卒中発症状況調査に基づく訪問。地区健康を守る会等と連携し、地区健康教室の開催。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員と連携し、働く人のための健康づくり応援事業を実施。</li> <li>・脳卒中既往者の会の開催。</li> <li>・食改員によるみそ汁の塩分測定の実施。</li> <li>・高齢者の集まりの場で、みそ玉づくりの実施。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳卒中後の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔管理の充実と多職種連携の普及啓発を図っている。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅でのリハビリ、生活指導。</li> </ul>
益田市連合婦人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市における状況調査についての話を保健師に話してもらった。生活習慣を改善するための過剰摂取についての話。</li> </ul>

益鹿食生活改善

<益田市>

- ・生活習慣病予防、重症化予防のためパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。
- ・減塩のチラシを作成、また、既存の脳卒中など生活習慣病予防のチラシを地区の文化祭など催しの際に配布、塩分摂取量の展示。
- ・近所の方の自宅へ訪問し、**家庭の味噌汁の塩分測定**実施。

<津和野町>

- ・**家庭訪問による味噌汁塩分調査。**
- ・事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。
- ・地区公民館祭りで減塩をテーマに塩分量の展示。
- ・地区で「はじめよう減塩」のリーフレットを配布し、減塩の話をした。

<吉賀町>

- ・働く人のための健康づくり応援事業を利用して、小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。
- ・高齢者に対して、吉賀町は高齢者の脳卒中発症が多いことから、減塩につながるみそ玉づくりをして、手軽にみそ汁をとれる方法を紹介した。
- ・**各家庭を訪問し、味噌汁の塩分測定**を実施。
- ・味噌汁の塩分測定の実施。

益田保健所

- ・**脳卒中発症予防のための生活習慣の改善について、益田圏域健康長寿しまね推進会議やしまね健康長寿延伸プロジェクト事業を中心に啓発している。**
- ・「脳卒中等情報システム事業」では、同意を得られた方に対し、市町から退院後の訪問面接、保健指導が行われている。また、訪問時の報告書から発症誘因等を明らかにし、関係機関へ還元することで効果的な発症及び再発予防対策に繋げている。
- ・**脳卒中对策担当者会議を開催し、「島根県循環器病対策推進計画」の共有や2年に1回の「脳卒中発症者状況調査」の協力依頼を実施するとともに、前回の全県調査結果を情報提供する。**
- ・しまね高血圧キャンペーンに併せ、庁舎内での放送や啓発のぼり・血圧手帳等を配布したり、関係機関にリーフレットを配布する等家庭血圧の測定の周知を行った。
- ・急性期から回復期、維持期と切れ目のないリハビリテーションの提供・医療介護サービスが相互に連携した支援を推進するため、「益田圏域生活療養ノート」を活用している。医師会病院のリハ科を中心に年間約200件程度発行されている。

団体名	今後の計画等
益鹿歯科医医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔管理の多職種連携の推進。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の見直しや講座内容を検討し、脳卒中予防講座を継続する。</li> <li>・益田市スマートヘルス推進事業の周知啓発を継続し、新規参加者を増やす。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発病予防に向けた取り組み。</li> <li>・高血圧管理の徹底。</li> <li>・健診受診勧奨。</li> <li>・精密検査の受診率向上に向けた取り組み。</li> <li>・発症連絡票による訪問。</li> <li>・リハ職との連携。</li> <li>・食改員と連携した活動の継続。</li> </ul>
益田市連合婦人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保健師からの話を聞く。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;益田市&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策を講じ、引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら、活動を充実させる。</li> <li>・食改自身が学習し、市民へ伝達する。</li> </ul> </li> <li>&lt;津和野町&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策をとりながら、継続。</li> </ul> </li> <li>&lt;吉賀町&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策をとりながら、まず、食改自身が学習し、それを町民に伝達する活動を継続する。</li> </ul> </li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、健康長寿しまね推進会議を中心に啓発する。</li> <li>・今後も、脳卒中对策担当者会議を開催し、市町や関係機関へ調査等の還元・評価、脳卒中情報システム事業の状況確認を行い、島根県循環器病対策推進計画にそった発症及び再発予防に向けた取組を検討する必要がある。</li> <li>・切れ目のないリハビリテーション提供のため、「益田圏域生活療養ノート」を作成しているが、近年、様々な情報共有ツールがあり、圏域内の活用状況に濃淡があるため、活用方法の検討、整理が必要である。</li> </ul>

## ⑤心筋梗塞等の心血管疾患

団体名	令和4年度 of 取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテーテル治療、検査、大動脈バルーンパンピングを実施。</li> <li>・心不全外来で心不全の予防、悪化の軽減に務める。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症リスクであるメタボや、高血圧予防についての健康教室を実施、特に冬場のヒートショック予防等を啓発した。</li> <li>・益田市スマートヘルス推進事業による血圧管理の普及啓発を行った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の受診率向上及び特定保健指導の実施率向上に向けた取組（キャンサースキャン及びぼたんの会への委託）。「しまね健康長寿延伸プロジェクト事業」におけるモデル地区での事業展開。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食改員と連携し、働く人のための健康づくり応援事業を実施。</li> <li>・食改員によるみそ汁の塩分測定の実施。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心血管疾患のリスクを高めるといわれている歯周病について、予防と重症化予防のための歯周疾患検診の受診率向上に向けてのチラシ作成。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での酸素療法の管理、生活指導。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>&lt;益田市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防、重症化予防のためパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。</li> <li>・市のがん検診の会場で、壮年期の女性に減塩チラシ・缶詰・レシピを配布し、減塩の普及啓発に取り組んだ。</li> <li>・近所の方の自宅へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定実施。</li> </ul> <p>&lt;津和野町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問による味噌汁塩分調査。</li> <li>・事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。</li> <li>・地区公民館祭りで減塩をテーマに塩分量の展示。</li> <li>・地区で「はじめよう減塩」のリーフレットを配布し、減塩の話をした。</li> </ul> <p>&lt;吉賀町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人のための健康づくり応援事業を利用して、小中学校に出向き、パンフレットの配布や展示、みそ玉づくりなどの体験を行った。</li> <li>・各家庭を訪問し、味噌汁の塩分測定を実施。</li> <li>・味噌汁の塩分測定の実施。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心疾患予防のための生活習慣の改善について、益田圏域健康長寿しまね推進会議を中心に啓発している。また、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業においても、生活習慣改善の取組を推進している。</li> <li>・各市町において、歯周疾患検診を実施し、歯周病の早期発見、早期治療の推進、かかりつけ医を持つことの普及啓発を行っている。</li> </ul>

団体名	今後の計画等
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 益田市との協力で市内小中学校すべての保護者に向けた歯周疾患検診勸奨のチラシの配布を継続。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心血管疾患予防についても、効果的な周知啓発に取り組んでいく。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食改員と連携した活動の継続。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt; 益田市 &gt;</li> <li>・ 新型コロナ感染対策を講じ、引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら、活動を充実させる。</li> <li>・ 食改自身が学習し、市民へ伝達する。</li> <li>&lt; 津和野町 &gt;</li> <li>・ 新型コロナ感染対策をとりながら、継続。</li> <li>&lt; 吉賀町 &gt;</li> <li>・ 新型コロナ感染対策をとりながら、まず、食改自身が学習し、それを町民に伝達する活動を継続する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、健康長寿しまね推進会議を中心に啓発する。</li> <li>・ 「島根県循環器病対策推進計画」を踏まえた取組の推進。</li> <li>・ 引き続き、歯周病唾液検査の普及、歯周疾患検診や精密検査の受診率向上の取り組みが必要。</li> </ul>

## ⑥糖尿病

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院 津和野町の医療を守り支援する会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の治療、透析、眼科等合併症の治療を実施。</li> <li>・令和4年12月1日に町と医療法人橋井堂の主催で、島根大学医学部内科学講座、内科学第1の金崎教授を講師に、糖尿病の予防や治療に関する講演会が開催されたので、役員も含め会員が参加した。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果から糖尿病発症リスク保有者を対象として、糖尿病予防講座を開催した。</li> <li>・健診結果やレセプト情報から医療機関受診必要者へ電話相談や手紙による受診勧奨を行った。</li> <li>・糖尿病予防の共通教材を作成し、各地区で健康教室を実施した。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根大学医学部教授を講師とした糖尿病に関する講演会の実施。糖尿病予防教室の開催。75gOGTT検査の受診勧奨。糖尿病重症化予防プログラムの実施（訪問/電話勧奨）。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病教室：5回実施。</li> <li>・特定健診で糖尿病精密検査になった方へ受診勧奨（通知、電話）。</li> <li>・医療機関より紹介を受けた方の個別栄養指導（12人）。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の医科歯科薬科連携のチラシの印刷・配布。糖尿病予備軍への対応として、特定健診受診者へのチラシの印刷・配布を行っている。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田地域糖尿病支援ネットワーク会議において、研修会等の案内を行った。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部 益鹿食生活改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での指導。（注射、食事、フットケア、生活指導など）</li> </ul>
	<p>＜益田市＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防、重症化予防のためパンフレット作成・配布・展示をするなど普及啓発を行った。</li> <li>・近所の方の自宅へ訪問し、家庭の味噌汁の塩分測定実施。</li> </ul> <p>＜津和野町＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問による味噌汁塩分調査。</li> <li>・事業所に出向き、健康管理の状況確認、健康についてのパンフレットを渡して説明。</li> <li>・地区公民館祭りで減塩をテーマに塩分量の展示。</li> <li>・地区で「はじめよう減塩」のリーフレットを配布し、減塩の話をした。</li> </ul>

益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防のための生活習慣の改善については、健康長寿しまね推進会議の活動を中心に取組を推進している。また、しまね健康長寿延伸プロジェクト事業においても、生活習慣改善の取組を推進している。</li> <li>・益田圏域の特定健診受診率は益田市は減少、津和野町と吉賀町は増加している。(R3年度速報 益田市：49.5% 津和野町；57.1% 吉賀町；56%)</li> <li>・糖尿病担当者会議を開催し、圏域の糖尿病対策の現状、益田圏域糖尿病予防システムについて意見交換を行い、今後の糖尿病対策について検討する。</li> <li>・益田圏域版の糖尿病予防システム(空腹時血糖110以上125以下、HbA1c6.0以上6.4以下は、糖負荷試験の実施)をH21年度から実施している。</li> <li>・一般診療所から糖尿病専門医(内科医・眼科医・歯科医)へ紹介基準を、糖尿病連携ファイルを通じて周知し、情報を毎年更新している。</li> <li>・益田圏域糖尿病対策担当者会議にて、糖尿病性腎症重症化予防について情報・意見交換を行い、今後の対策について検討する。</li> </ul>
<b>団体名</b>	<b>今後の計画等</b>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、働き盛り世代への歯と口腔の重要性に関する情報発信を強化する。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座内容を検討し、糖尿病予防講座を継続する。</li> <li>・糖尿病重症化予防の取組を継続する。</li> <li>・保健所や糖尿病専門医等と相談し、糖尿病対策の体制づくりを行う。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密検査の受診率向上にむけた取り組み。</li> <li>・生活習慣の改善に向けた取り組み。</li> <li>・受診中断、未受診者への取り組み。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>&lt;益田市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策を講じ、引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら、活動を充実させる。</li> <li>・食改自身が学習し、市民へ伝達する。</li> </ul> <p>&lt;津和野町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策をとりながら、継続。</li> </ul> <p>&lt;吉賀町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染対策をとりながら、まず、食改自身が学習し、それを町民に伝達する活動を継続する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、健康長寿しまね推進会議を中心に啓発する。</li> <li>・世界糖尿病デーイベントin益田や益田地域糖尿病支援ネットワークを開催する。</li> <li>・各市町が糖尿病性腎症重症化予防に取り組めるよう事業評価をしつつ、重症化予防につながる対象や取組内容の検討が必要である。</li> </ul>

## ⑦精神疾患

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院 益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松ヶ丘病院との医療機能連携協定を締結。</li> <li>・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築においては、頻回入退院者の地域定着に向けての聞き取り調査を実施し、課題分析を行った。また、継続的な取組である強度行動障がいについての検討会にも参加し、関係機関と連携を図ることができた。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業・生活支援センターエスポアと連携した障がい者就労相談「ワークWORK相談」を実施。精神保健福祉支援者研修会・精神保健福祉ボランティアの養成及びスキルアップ講座の開催。精神障がい者当事者会「紅くじゃくの会」の開催。ゲートキーパー研修の開催。自死防止ネットワーク会議の開催。心の健康相談の実施。認知症講演会の開催。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた検討。</li> <li>・ひきこもり支援として、SST講座（月1回）の継続。</li> <li>・相談事業やネットワーク事業の活用や、関係機関と連携して、在宅及び入院の個別ケースの検討、支援。</li> <li>・松ヶ丘病院通院バス「ひかり号」運行。</li> <li>・ひきこもり事例検討会の開催（1回/2ヶ月）。</li> <li>・家族会の支援、講座の開催。</li> </ul>
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内で数件のクラスターが発生したが、精神疾患の患者の受け入れに支障がないように、病院全体で取り組んだ。</li> <li>・長期入院の退院促進を積極的に行い、退院後の訪問診療、訪問看護、就労支援を充実させた。また、入院中から退院に向け、各機関と連携した支援を行った。</li> <li>・精神科訪問看護室を開設し、訪問看護を充実させた。</li> <li>・ギャンブル依存症外来を週2回開設し、圏域外からの受診も受け入れ、体制を強化した。</li> <li>・小児精神の専門常勤医を招聘し、小児発達外来を拡充した。</li> <li>・就労支援を強化し、就労継続支援A型、就労継続支援B型との連携を促進させた。</li> <li>・地域住民対象の「出前講座」を多数開催し、病気への理解を促すとともに、差別や偏見をなくす取組を進め、早期支援の必要性も伝えた。</li> <li>・地域型認知症疾患医療センターを中心に、各医療機関との連携を図り、早期治療に取り組んだ。</li> <li>・認知症の様々なイベント（アルツハイマーデー、RUN伴等）を通じて、啓発活動に取り組んだ。</li> <li>・ひきこもり支援センター「いっぼ」を中心に、本人、家族からの相談を受け、関係機関との連携を強化した。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になる前からの定期歯科受診を勧奨するためのチラシの印刷・配布。</li> </ul>
吉賀町訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅での精神管理。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田圏域認知症ネットワーク会議や益田圏域認知症サポート医連絡会議への参加。</li> </ul>

- ・啓発月間やキャンペーンに併せて、益田合庁玄関口にグッズやチラシを配架。
  - ・精神障がい者地域生活移行支援・地域定着支援事業圏域会議を開催し、益田圏域の精神医療の状況や各市町の精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム構築の協議の場の設置状況・取組について情報共有した。今年度より、児童民生委員協議会と家族会が新たに参加した。
  - ・定期ケース検討会を松ヶ丘病院の院内カンファレンスに位置づけ、長期入院者のケース検討会を年3回実施。
  - ・関係機関の窓口、各種会議・研修会でストレスチェック表・相談窓口一覧表を配布し、周知を行っている。
  - ・自死予防週間や自死対策強化月間において、市町にケーブルTV放送を依頼したり、広報やスーパーでの啓発を行っている。また、保健所相談チラシの配架場所をスーパーなどに増やし、相談窓口の周知に努めた。そのため、相談件数が増加した。
  - ・保健所の定期相談を身近に利用してもらうために、健康長寿しまね推進会議の運動とこころの部会で意見交換を実施した。
  - ・益田日赤と松ヶ丘病院が連携し、精神科受診中の妊婦の産前・産後のフォローを行うことにより、対象妊婦の支援だけでなく、産婦人科と精神科の連携が強化されている。
  - ・圏域の認知症ネットワーク会議を年1回開催し、関係機関と認知症対策の取組状況、方向性を検討する場としている。
  - ・認知症サポート医の活動状況や今後の取組を把握し、地域とのネットワーク構築のため、新規サポート医訪問を実施している（近年はコロナのためオンライン実施）。圏域内養成のサポート医は13名。
  - ・認知症サポート医連絡会、認知症支援懇話会（研修会）をオンラインで開催している。
  - ・早期発見・早期相談につなげるため、ネットワーク会議で作成した認知症チェックリストチラシの更新を行っている。
- 
- ・認知症初期集中支援チームや若年性認知症の相談窓口も含め普及している。
  - ・県立こころの医療センターの協力を得て、子どもの心の相談を実施している。（年1回）
  - ・松ヶ丘病院と県立こころの医療センターの協力を得て、子どもの心の事例検討会を実施している。（年3回）
  - ・益田圏域子どもの心の相談窓口一覧を更新し、構成団体に変更時配布する。

- ・子どもの心の診療ネットワーク会議や従事者研修会を開催し、情報共有や、資質向上による連携体制づくりを検討している。今年は、オンライン開催とした。
- ・圏域医師等を中央研修に派遣し、子どもの診療体制の充実に努めている。また、復命研修も行った。
- ・断酒会やAA（アルコール依存症の自助グループ）への支援の実施。
- ・H30年度に松ヶ丘病院がギャンブル依存症等拠点医療機関に選定され、令和元年には山陰初のGA（ギャンブル依存症の自助グループ）益田グループが発足した。松ヶ丘病院におけるギャンブル依存症の取組やGA益田グループの周知、顔の見える関係づくりと対応力向上のため、益田圏域ギャンブル依存症研修会を松ヶ丘病院が開催し、参画した。
- ・精神科救急医療体制益田圏域連絡調整会議を開催し、迅速かつ適切な医療の確保、コロナ禍における精神科救急医療体制、自死対策等について関係機関と協議を行った。
- ・各市町の自死ネットワーク会議や未遂者支援対策の会議へ参加し、自死や未遂者に対する支援の協議や情報交換を行っている。
- ・鹿足郡のあぼろ心療所の閉院後、津和野共存病院内に精神科・心療内科が開設され、圏域内の精神科医療提供体制の充実に繋がっている。
- ・益田圏域自死総合対策連絡会を中心に、関係機関と連携して総合的な自死対策を推進している。
- ・医療観察法対象者については、個別ケース支援として、松江保護観察所と連携し、現状の確認と今後の支援について関係機関と検討を行っている。

団体名	今後の計画等
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院促進に向け、各関係機関との連携を更に強化する。</li> <li>・精神疾患への差別や偏見のない共生社会を実現するために、「さんさん牧場」等の施設を最大限に活用していく。</li> <li>・依存症外来の強化を図る。</li> <li>・認知症疾患医療センターの機能を強化し、質の高い認知症治療を促進していく。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取り調査結果から見える課題及び次年度の取組について、コア会議を通して検討を行う。</li> <li>・強度行動障がいについて、関係機関と連携し、今後、益田市で生活するための環境整備を行う。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の講座、仲間の会の集いの実施。</li> <li>・長期入院患者の地域移行支援の実施。</li> <li>・こころの健康づくり（1次予防）。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の正しい知識の普及について、H30年度より「心の輪を広げ隊（普及啓発を行う当事者組織）」を保健所で立ち上げ、より身近なところで精神障がい者からの体験発表と保健師による専門知識の講演を行う。</li> <li>・3市町全てに精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場が設置され、包括ケア構築に向けて関係機関と連携しながら取組を進めて行く。</li> <li>・学校内での支援体制が整いつつある中、早期に相談でき、適切な医療や支援に繋がる体制を検討する。</li> <li>・学校教員、特別支援コーディネーター等必要な人に情報が行き届く方法について検討が必要である。</li> </ul>

## ⑧救急医療

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院 津和野町の医療を守り支援する会 益田市 津和野町 吉賀町 益田広域消防本部 益田市医師会 鹿足郡医師会 益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間365日救急外来を継続。</li> <li>・作成するパンフレットの中に、つわの健康ダイヤル24事業について、掲載する。</li> <li>・休日応急診療事業、無料電話相談により救急外来の負担軽減を図った。</li> <li>・「知って安心・受診の心得」を配布し、上手な医療機関のかかり方の周知啓発を行った。</li> <li>・「救急の日」に合わせ、リーフレットを配布し、救急車の適正利用などを呼びかけた。</li> <li>・津和野共存病院は救急告示病院ではないため、益田赤十字病院等への搬送が基本となるが、患者の状態によっては診療を実施。つわの健康ダイヤル24事業による電話相談の実施。</li> <li>・六日市病院の2次救急への支援（特別交付税を利用した第5次六日市病院支援）</li> <li>・救急救命九州研究所の新規救急救命士養成研修、指導救命士養成研修及び感染対策強化研修にそれぞれ1名を派遣した。</li> <li>・救急医療週間に併せ、救急車の適正利用について広報を実施した。</li> <li>・ドクヘリ症例検討会に参加し、隊員のスキルアップ及び連携強化に努めた。</li> <li>・防災ヘリとの合同訓練を実施し、連携強化を図った。</li> <li>・益田市立休日応急診療所の協力を行った。</li> <li>・益田地区救急業務連絡協議会メンバーとして、救急医療に携わる9月救急の日週間の普及啓発。</li> <li>・益田市においては、H21年3月に整備された益田市休日応急診療事業において対応している。鹿足郡では、開業医の閉院、医師の高齢化、病院医師不足等により、在宅当番医制をH31年3月に廃止。六日市病院と津和野共存病院が初期救急を担っている。</li> <li>・医療のかかり方の啓発活動をしている医療を守る会への支援を継続している。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田市 吉賀町 益田広域消防本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日・夜間の救急外来の負担を軽減するための取組を継続して行う。</li> <li>・関係機関と協力して、上手な医療機関のかかり方、救急車の適正利用などについて、周知啓発を行う。</li> <li>・六日市病院の2次救急への支援（特別交付税を利用した第5次六日市病院支援）。</li> <li>・救命士就業前研修（2名）を1月から実施し、今後は薬剤認定病院実習（4名）、救命士等生涯教育（16名）を実施する。</li> </ul>

## ⑨災害医療

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害医療拠点病院。DMAT 1チームあり。</li> <li>・島根県防災訓練に参加。院内の災害対応訓練を実施。</li> </ul>
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DPATの先遣隊として、各講習会や実地訓練に参加した。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における歯科支援チームJDATの編成について、日本歯科医師会から島根県歯科医師会を通じて地区歯科医師会に依頼があり、1チームを編成している。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器を使用している利用者には、必要時、訪問する。BCP作成。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部の設置時に、益田日赤に対し、リエゾンの要請について今後検討する。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「吉賀町地域防災計画」に基づいた活動の推進。</li> <li>・「益田地域災害医療対策会議」への参加。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの策定</li> <li>・石見空港航空機事故消火救難総合訓練などを通じた外部訓練への参加。（令和4年度は卓上訓練）益田市医師会員を4班に編成し、災害時の体制を整えている。</li> </ul>
鹿足郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の生命と健康を守ることを目的に、保健所と連携し適切な対策の構築検討。地区を分けて班を編成している。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田地域災害医療対策会議を開催し、災害時の連携や連絡体制整備の取り組み状況について確認している。今年度は、災害時の関係機関の災害医療担当名簿を更新し、各関係機関の初動についての意見交換を実施した。</li> <li>・難病患者の支援体制整備の一環として、災害時の備え及び支援体制整備を目的に、非常用電源についての講習、医療的ケアを必要とする患者の災害時の個別支援体制の確認等を行った。</li> <li>・毎年、EMIS入力・衛星電話通信訓練に参加。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DPATの先遣隊として、災害医療に積極的に関わる。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JDATの実質的な活動内容を検討したい。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務継続計画の整備を含む平時からの備えの実施や、連携体制の構築に務める。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「吉賀町地域防災計画」に基づいた活動の推進。</li> <li>・「益田地域災害医療対策会議」への参加。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPの策定</li> <li>・災害医療について現状の体制を維持する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、益田地域災害医療対策会議を継続しながら、関係機関の災害時初動について検討していく必要がある。</li> </ul>

## ⑩地域医療

団体名	令和4年度の取組状況
益田の医療を守る市民の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で活動が制約される中、<b>広報誌を発行</b>することにより、<b>医療に関する情報の提供</b>に努めた。</li> </ul>
津和野町の医療を守り支援する会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津和野共存病院に勤務する荒川医師（地域枠医師）を講師に、町民向けの講話の実施。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赴任医師歓迎事業を実施した。</li> <li>・「益田の医療を守る市民の会」とともにシンポジウムに参加したり、運営を支援した。</li> <li>・将来、益田市の医療を担う志を持った学生に対し、<b>奨学金の貸し付け</b>を行った。</li> <li>・中学生については、医療現場体験実習を医療機関、市、教育委員会と連携して実施予定だったが、市内のコロナ感染拡大を踏まえ、中止とした。</li> <li>・地域医療教育推進事業は、今年度も全ての小中学校で実施した。各学校それぞれで内容を考え、取り組んでもらっている。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田赤十字病院の後方支援病院として機能分担。<b>医師の安定確保及び定着に向け、島根県、島根大学、しまね地域医療支援センターと定期的に意見交換等実施。医療従事者の確保に向け、看護学校や医療技術職及び介護職員等養成施設へ出向き、PR活動を実施。町内の2無医地区のうち1地区（須川地区）に対する月2回の巡回診療を開始した。日原診療所の移転による日原地域への医療提供体制を強化。</b></li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療を守るという観点から、六日市病院の経営改善に向けたアクションプラン担当者会議、進捗管理の経営会議への出席。また、例年同様に特別交付税を利用した第5次六日市病院支援計画を実施し、主として財政支援を行った。また、町の医療計画に公設民営化への取り組みを追加する計画変更を行った。</li> </ul>
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津和野町日原に開設していた「かのあしあぼろ心療所」を3月末で閉院し、R4年4月より、津和野共存病院 精神科・心療内科に、医師と精神保健福祉士を派遣した。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンダードプリコーション（標準的感染予防対策）に加えて、新型コロナウイルス感染予防対策を強化し、歯科診療体制の継続に努めている。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護スタッフの求人を行っている。福祉教育、職場体験（中学校）。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師不足解消のためのへき地医療研修プロジェクト「親父の背中プログラム」の実施。R4年度は1名受け入れた。</li> <li>・R3年9月から、益田市内無医地区等6ヶ所の巡回診療所へ医師会員を派遣し、無医地区の医療体制の維持。</li> </ul>

益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まめネット」について、津和野町や津和野共存病院と益田日赤の間で活用事例が積み上げられてきた。また、吉賀町においても在宅療養支援のためのツールとして、吉賀町訪問看護ステーションと六日市病院、益田日赤とで「まめネット」を活用する準備が整いつつある。</li> <li>・条件不利地域において、訪問診療・訪問看護を行う医療機関や訪問看護ステーションに対し、市町を通じて支援を行っている。</li> <li>・津和野共存病院へR1年度から自治医科大学の医師及び島根大学からの医師が派遣されている。</li> <li>・関係機関が連携し、地元出身の医療従事者の確保のため、地域枠推薦学生を積極的に支援している。また、市町毎、圏域合同で、管内市町出身の医学生を対象として意見交換を開催。</li> <li>・益田圏域の地域医療について医学生に関心を持ってもらう機会とするため、春と秋の地域医療実習を管内医療機関と協力して受け入れている。</li> <li>・益田日赤と医師会病院、松ヶ丘病院、津和野共存病院、六日市病院それぞれ2医療機関間で、医療連携協定を締結している。また、津和野町と益田日赤が地域医療連携協定を締結し、人材確保等の取組を進めている。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田の医療を守る市民の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の発行を継続する。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、中学生については医療現場体験実習を医療機関、市、教育委員会と連携して実施する。</li> <li>・今後も地域医療をテーマとして、地域医療教育推進事業を市内全ての小中学校で実施する。</li> <li>・医療従事者に益田市で働きたいと思ってもらえるよう、内容を検討しながら取組を継続する。</li> <li>・奨学金について周知するために、高校と連携する。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制が整い次第、木部地区に対し、巡回診療を実施。在宅診療の強化。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公設民営化に向けての取り組みの強化を行う。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科診療所内の新興感染症への対策強化に努めたい。へき地地域等での歯科医療体制の充実。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親父の背中プログラム」の参加医師の募集。</li> <li>・無医地区の医療体制の維持。</li> </ul>
鹿足郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まめネットの活用促進</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まめネット」の普及促進。活用事例等の情報提供を継続して行う。</li> <li>・春と秋の地域医療実習の継続。</li> </ul>

## ⑪周産期医療

団体名	令和4年度の実施状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科医4名、小児科医3名、常勤麻酔科医1名体制で、周産期医療に対応。</li> <li>・院内助産の取組。</li> <li>・地域周産期母子医療センターである益田赤十字病院において、島大・県中と連携して、周産期医療の提供を行っている。</li> <li>・地域周産期母子保健医療連絡会を開催し、分娩医療機関と行政で連携を図っている。</li> <li>・益田日赤に配置されている周産期ドクターカー、ドクヘリにより搬送が行われている。</li> <li>・妊婦や褥婦全員にEPDS（産後うつ病質問票）を実施しており、気になるケースについては病院のMSWを通して速やかに市町につないでいる。</li> </ul>
益田市 津和野町 吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期医療を担う病院に対し、分娩件数に応じて補助を行った。</li> <li>・妊産婦通院費助成及び妊産婦通院サポート事業の実施。</li> <li>・妊産婦、乳児の健診助成。通院費助成。</li> <li>・産前産後サポート事業や産後ケア事業実施。</li> <li>・外国人対応（定期訪問や母国語の資料活用）。</li> <li>・益田赤十字病院の分娩補助。</li> <li>・助産院が令和2年度に開院。</li> </ul>
松ヶ丘病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度から、益田赤十字病院と「ハイリスク妊産婦連携指導カンファレンス」を2ヶ月に1回開催し、精神疾患を有する妊婦が安心して出産でき、出産後フォローもできるように取り組んだ。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送時の情報提供（母体・新生児各搬送連絡票）を県内で統一し、迅速な情報共有が可能になっている。</li> <li>・特定妊婦等支援が必要なケースについては、市町の要保護児童対策協議会が中心となり支援会議が開催されており、参加している。</li> <li>・医師確保計画では、産科医・小児科医が相対的医師少数区域である。</li> <li>・全市町で14回の妊婦健診が公費負担対象となっている。また、津和野町と吉賀町は、妊婦健診通院交通費を全額助成している。</li> <li>・全市町で子育て世代包括支援センターが開所され、産前から切れ目のない支援を実施している。</li> <li>・医療的ケアが必要であったり、退院後も支援が必要な場合は、病院や市町から保健所に情報提供があり、退院前若しくは退院直後から訪問等により支援をしている。</li> <li>・個別ケースの災害時対応マニュアルを更新している。</li> <li>・医療機関や市町と支援会議を重ね、連携をとりながら支援体制づくりをしている。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期医療維持のため引き続き支援を行う。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳アプリの活用による事業周知と利用の促進。</li> <li>・外国人妊産婦の支援。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、益田日赤や各市町を連携を図っていく。</li> </ul>

## ⑫小児救急を含む小児医療

団体名	令和4年度の実施状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科3名体制を維持。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ますだ健康ダイヤル24事業の実施。</li> <li>・H21年3月に整備された益田市休日応急診療事業で対応している。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つわの健康ダイヤル24事業の実施。</li> <li>・鹿足郡ではH31年3月に在宅当番医制を廃止し、津和野共存病院が対応している。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと関わる人向けの小児救急対応研修を企画するも、コロナ感染症拡大の影響を受け、中止。</li> <li>・鹿足郡ではH31年3月に在宅当番医制を廃止し、六日市病院が対応している。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種予防接種の実施。</li> <li>・学校医、園医による健診の実施。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、市町や医療を守る市民の会等と連携し、救急のかかり方や#8000事業等について啓発を継続する。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民、関係者向けの研修の実施。</li> </ul>

### ⑬在宅医療

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の自宅療養について、医師による健康観察を実施。</li> <li>・開業医、訪問看護と連携し、在宅医療、在宅療養を推進。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療介護連携に関するコア会議を毎月～隔月に1回行い、医療と介護の情報共有の仕組みについて検討した。また、在宅医療・介護連携推進協議会を開催し（年2回の予定）、医療と介護の両面からの意見をいただき、取り組みに反映している。</li> <li>・11月をACP普及月間として啓発活動を行った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携推進事業を医療法人に委託。切れ目ない在宅医療・介護サービスが一体的に提供されるよう、地域の医療・介護関係者の協力を得て、体制整備を図る等の施策を実施。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅歯科診療の普及啓発のために「歯の往診ほっとライン」0852-27-8020（島根県歯科医師会）の周知に努めている。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院時、医療機関と連携をとり、まめネットも活用している。</li> <li>・訪問看護情報提供書の見直しに取り組んでいる。</li> <li>・慢性的な人材不足により、24時間体制の確保や継続した運営が厳しい状況にある。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携推進コーディネーター配置事業に取り組み、圏域内の在宅医療介護連携を推進した。</li> <li>・医療連携推進コーディネーター配置事業による「在宅医療に関する医師の意見交換」を開催し救急対応の面で、消防本部、急性期病院、医師会の各立場から活発な議論を行った。</li> <li>・益田市在宅医療介護連携支援センターを中心に、各種研修会を実施し、地域や関係機関との連携を図った。</li> </ul>

益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療対策会議 医療・介護連携部会を中心に、地域医療構想に基づく圏域病床機能について検討を進めている。</li> <li>・5病院ともに入退院連携室の体制充実が図られている。</li> <li>・各市町、在宅医療介護連携推進事業の下で会議体を設置し、方向性を定めたり、進捗管理を行ったりしている。また、圏域内の3市町の担当者連絡会議を年に1回開催し、次年度の事業の方向性や当年度の成果について確認を行っている。</li> <li>・医療機関、訪問看護ステーション等で、まめネットの活用が進められている。</li> <li>・各市町在宅医療介護連携推進事業において、入退院時の情報共有のための仕組みづくりについて検討が進められている。また、市町レベルで解決が難しい課題（圏域内での療養を希望しながら圏域外で療養している患者への対応等）については、圏域内5病院の入退院連携室関係者と市町の担当で構成された実務者会議において検討している。</li> <li>・急性期から回復期、維持期と切れ目のないリハビリテーションの提供・医療介護サービスが相互に連携した支援を推進するため、「益田圏域生活療養ノート」を活用している。医師会病院のリハ科を中心に年間約200件程度発行されている。</li> <li>・医療介護総合確保基金市町村支援事業の「訪問看護支援事業」を中山間地における訪問看護師の運営面の補助として活用している。</li> <li>・医師会病院は、特定行為研修を修了した看護師を育成し、現在5人の特定看護師が誕生した。病棟及び隣接する老健での活動だけでなく、退院後訪問の実施等、在宅支援の取組への広がりが期待される。</li> <li>・要介護度が低い方が圏域内で療養できないため、圏域外流出に繋がっているという意見があった。</li> </ul>
<b>団体名</b>	<b>今後の計画等</b>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、在宅医療介護連携に関するコア会議、在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、人生会議の普及や情報共有の仕組みについて検討していく。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療対策会議 医療・介護連携部会を中心に、地域医療構想に基づく圏域病床機能について検討を今後も進めていく。</li> <li>・圏域内全体へまめネットを普及するため、活用事例等の情報提供を継続していく必要がある。</li> <li>・近年、様々な情報共有ツールがあり、圏域内の活用状況に濃淡があるため、活用方法の検討、整理が必要である。</li> </ul>

## ⑭緩和ケア及び人生の最終段階における医療

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア外来、緩和ケアチームが活動中。</li> <li>・緩和ケアアドバイザー連絡会の実施。</li> <li>・緩和ケア事例検討会の開催。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もしもの時のために」(ACP歯科編)のチラシを作成した。益田市医師会・鹿足郡医師会・益田保健所と連携し周知。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り2件。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月に人生会議普及啓発月間として、市民講座の開催や関係機関にポスターなどを掲示してもらい、市民への周知啓発を図った。普及月間以外にも、地域の健康教室の場面や、市民活動団体と協働して人生会議の普及を行った。</li> <li>・あき家対策等他事業と連動した啓発を実施。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民向けにオレンジカフェ等を利用し、ACP座談会の開催や終活に関する講演会、終活ノートの書き方講座を実施。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・介護従事者向けのACP研修会を実施予定。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療介護連携推進事業により圏域の多職種研修会を開催し、終末期についての講演や地域住民への「あきな座談会」を行い、ACPの普及啓発を行った。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア事例検討会を2月6日に開催し、入院時から在宅看取りまでのケースを益田日赤看護師と訪問看護師で検討した。その時に、地域のACPの取組を保健所から情報提供した。</li> <li>・「在宅医療・緩和ケア資源情報」を作成・随時更新し、情報提供を実施。</li> <li>・各市町の取組として、ACPに関する普及啓発が進んでいる。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシの印刷と配布によるACPの普及啓発の継続。緩和ケア研修会への参加を増やす。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、人生会議の普及啓発を行う。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアアドバイザー連絡会への参画を継続する。</li> <li>・緩和ケア事例検討会の参画を継続する。</li> <li>・各市町への支援。</li> </ul>

## ⑮ 医薬分業

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院 益鹿歯科医師会 益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院外処方箋率95.2%。</li> <li>・ 電子処方箋開始に向けて準備を進めている。</li> <li>・ 管内の医薬分業率は、他圏域と比較して一番多く、健康サポート薬局は3件（全県で19件）の届け出がある。              患者が複数の病院や診療所からの処方箋に基づき調剤された医薬品の服薬指導が受けることができる「かかりつけ薬剤師・薬局」を持ってもらうために、薬局への立ち入りの際や地域包括ケアにおける研修の場など様々な機会を通じ、助言を行っている。              ・ R5年3月31日までに提出される「取扱処方せん数の届出」の内容に基づき、薬局に配置すべき適正な薬剤師数の設置について指導を行っていく。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益鹿歯科医師会  益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPKI（保健医療福祉分野の公開鍵基盤）カード発行申請者を増やす。              ※医療現場において、公的資格の確認機能を有する電子署名や電子認証を行う基盤のこと</li> <li>・ 引き続き、患者本位のため、薬剤師の質の向上に努める。</li> <li>・ 引き続き、適正な薬剤師数を設置してもらえよう、指導を継続していく。</li> </ul>

## ⑩医薬品等の安全性確保

団体名	令和4年度の実施状況
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局、医薬品販売業の店舗等に対する指導として、医薬品等一斉監視指導の期間（7～10月）を中心に、新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえて可能な範囲で立ち入り検査を実施した。</li> <li>・医薬品一斉監視の機会を通じて病院、薬局の麻薬等の適正管理の周知を行った。</li> <li>・いわゆる健康食品、医薬品等でないものであって効能効果を謳う製品を発見した場合は、ただちに指導を行うが、今年度は発見はなかった。</li> <li>・「薬と健康の週間」（10月17～23日）に、多くの方に目に触れていただけるようポスターを掲示したり、ホームページを通じ普及啓発を行っている。</li> <li>・薬物乱用防止については、警察等の関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症状況も踏まえて可能な範囲で学校教育における「薬物乱用防止教室」を実施している。</li> <li>・薬物乱用のポスター掲示や募金箱を設置した。</li> <li>・少子高齢化が進み、献血可能人口がさらに減少することから、献血者の確保を図るため、小学生や高校生等若年層を対象とした啓発事業を、島根県赤十字血液センターと連携して実施している。</li> <li>・献血バス巡回時には、場所の確保並びに全職員への周知を行い、必要な血液の確保に努めている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえて可能な範囲で、毒物・劇物営業者に対して監視指導を行った。</li> <li>・毒物・劇物などによる事件・事故などに対しては、医療機関からの相談があった際には、迅速に「中毒情報データベース」及び「中毒110番（電話サービス）」への情報提供ができるよう体制を構築している。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、麻薬の適正な取扱・保管管理等について立入監視や周知啓発を行っていく。</li> <li>・薬物乱用防止教室は、全て警察と連携し実施している。このことが益田モデルとして、他の圏域においても取り入れてもらえるよう実地要領等を作成する。</li> <li>・引き続き、血液の安定確保に向け、関係機関と連携していく。</li> </ul>

## ⑰臓器等移植

団体名	令和4年度の実施状況
益田赤十字病院	・しまねまごころバンク、各大学病院と連携し、患者、家族の意思に沿う対応ができるよう支援。
津和野町	・しまねまごころバンクの臓器移植啓発の広報掲載。成人式において新成人へ臓器移植、ドナー登録のリーフレット配布。
益田保健所	・骨髄バンクの登録受付を、原則毎月2回実施している。 ・骨髄バンクの啓発活動を実施している。

## ⑱医療安全の推進

団体名	令和4年度の実施状況
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法の立入検査を計画的に実施し、医療の安全管理体制の確保に努めている。</li> <li>・管内5病院は毎年実施し、無床診療所と歯科診療所は5～8年に1回実施。新規開設した医療機関は次年度に実施している。今年度は、<b>新型コロナウイルス感染症への対応に伴う医療機関及び保健所の実情も踏まえ、無床診療所・歯科診療所は立入検査を実施したが、病院における立入検査は、書面審査（自主検査の確認）により実施した。</b></li> <li>・医療安全相談窓口を設置して、随時相談対応をしている。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法の立入検査を計画的に実施。</li> <li>・医療安全相談窓口の継続実施。</li> </ul>

## ⑱健康長寿しまねの推進

団体名	令和4年度の実施状況
津和野町社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶のみサロン事業の推進・助成</li> <li>・買い物ツアー事業の推進・助成</li> <li>・地域のお達人サロン事業の推進</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康ますだ市21推進協議会の推進員へ健康長寿しまねの取組の情報提供を行った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進計画「健康つわの21」の推進に向け、津和野町健康で生きがいのある町づくり会議を中心とし、3つの部会と地区健康を守る会とが重点的な取組をローテーションしながら、健康教室などの開催。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉賀町健康づくり推進協議会、下部組織の3部会を単体で開催。生きがい運動部会では、健康高齢者表彰式を開催し、26名が受賞。</li> <li>・第3次いきいき21よしか健康づくり計画策定のための健康アンケートの実施。計画策定のための会議を開催した。</li> </ul>
益田地区栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージにおいて、朝食の大切さ、及び生活習慣病予防の啓発活動</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食と歯の部会、たばこ部会へ参画。健康寿命延伸に向けて会の「プラス1」として定期歯科受診の目標設定に努めている。働き盛り世代に向けての定期歯科受診勧奨のチラシを保健所の協力を得て作成予定。</li> </ul>
島根県看護協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年10月23日に開催された、健康ますだ市21フェスティバルにおいて、まちの保健室を開設し、血圧測定の実施と健康手帳等の配布を行った。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>＜益田市＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き盛り世代が多い集まりを活用し、「+1プラスワン」のチラシを配布した。</li> <li>・市内スーパーと連携し、減塩のチラシ・簡単にできる野菜レシピなどを配布し、働き盛り世代が健康に関心を持つよう普及啓発を行った。</li> <li>・各地区健康づくりの会と連携し、朝ごはんの大切さを講義、調理実習を通して、子ども達へ伝え食育の推進を行った。</li> <li>・食改員自身が「しまね健康寿命延伸プロジェクト事業」について学習した。</li> </ul> <p>＜津和野町＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内のスーパーでの減塩チラシときくらげを使った簡単レシピを配布し、野菜摂取等の啓発を行う。</li> </ul> <p>＜吉賀町＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食改員自身が「しまね健康寿命延伸プロジェクト事業」について学習した。</li> <li>・「野菜をあと一皿食べよう」の街頭キャンペーンを、町内2ヶ所のスーパーで行った。</li> <li>・小中校生を対象に早寝早起き朝ごはんの大切さを話し、調理実習を交えて啓発活動を行った。</li> <li>・食改員の育成教室を行い、食育を推進する人材育成に努めた。</li> <li>・減塩につながるみそ玉づくりを小中学校や高齢者の集まりの場で行った。</li> </ul>

益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次益田圏域健康長寿しまね推進計画（「2次計画」という）に基づき、「生涯現役、健康長寿のまちづくり」をめざし、住民や関係機関・団体とともに、県民運動を展開している。</li> <li>・益田圏域健康長寿しまね推進会議において、関係機関・団体との検討の場をもち、ネットワークを形成して、三位一体となった地域づくり活動を推進している。</li> <li>総会において、しまね健康寿命延伸プロジェクト事業より「3つのキャッチコピー」について周知を図った。【3つのキャッチコピー】①減塩；あと1g！素材のおいしさに気づくかも！②野菜摂取；あと+70g！しまねの野菜でいい調子！③運動促進；あと10分！あと1000歩！すきま時間に「ちょいトレ」チャレンジ</li> <li>・健康づくり活動表彰として、島根県知事賞を受賞した「若がえりの会」をはじめ、各賞受賞団体の表彰式を開催した。受賞団体の活動について発表を行っていただき、情報共有や周知啓発を図った。</li> <li>・部会活動について、運動とこころの部会では、「まめなくんの手ぬぐい体操」や「こころの相談窓口」の啓発方法について検討を行った。食と歯の部会では、スーパー等での情報発信や、事業所での唾液検査を実施した。たばこと酒の部会では、「まめなくんのたばこと酒のコーナー」を部会員持ち回りで設置した。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>団体名</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>今後の計画等</b></p>
津和野町社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶のみサロン事業の推進・助成</li> <li>・買い物ツアー事業の推進・助成</li> <li>・地域のお達者サロン事業の推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">の継続</p>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市では、小中学校の子どもの定期歯科検診受診率100%、成人期以降で65%を目標に普及啓発を継続。作成したチラシの活用促進。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿しまねの取組を情報共有し、健康ますだ市21活動へ活かす。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次いきいき21よしか健康づくり計画の推進。代表者会議と部会の開催。</li> </ul>
島根県看護協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者からの要請を受け、積極的に参加し、関係機関との顔の見える関係づくりを行う。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>&lt;益田市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策を講じ、引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら、活動を充実させる。</li> <li>・食改員自身が学習し、市民へ伝達する。</li> </ul> <p>&lt;津和野町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策をとりながら、継続。</li> </ul> <p>&lt;吉賀町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策をとりながら、まず食改員が学習し、それを町民に伝達する活動を継続する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次計画最終年（R5）を迎えるに当たり、事業評価、体制整備に向けての検討を行う。</li> </ul>

## ⑳ 健やか親子しまねの推進

団体名	令和4年度 of 取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性に対する暴力対策について、関係機関と協議し、救急対応の体制整備。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センターにおいて、関係機関と連携しながら、<b>妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援</b>を目指し、母子保健・子育て支援事業に取り組んだ。</li> <li>・<b>今年度から、新生児聴覚検査の費用助成を開始した。</b></li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>母子手帳交付時から関係づくりを大切に、助産師や保健師と訪問や妊婦教室育児相談、健診など他関係機関と連携しながら、支援体制を強化。</b>要保護児童対策地域協議会、子ども家庭総合支援拠点等のネットワークを利用し、要保護、要支援家庭の支援を実施。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>妊娠期から切れ目のない支援の実現</b>に向けて、産前産後のサポートを実施。</li> <li>・両親セミナー（父親教室）の開催。</li> <li>・情報発信のため、母子手帳アプリ「母子モ」を導入。</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待の早期発見と支援につながるよう、また歯科医療放棄が起こらないよう定期歯科受診勧奨のチラシを作成した。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>＜津和野町＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校で朝食の大切さについて講話。バランスのとれた食事の提供。</li> <li>・各地区で子どもを対象に、簡単な食事づくりの体験の場を提供。</li> </ul> <p>＜吉賀町＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の保健集会に出向いて、朝食の大切さなどを児童と保護者に話した。親子でみそ玉づくりなどの体験活動を実施した。</li> <li>・中学校で1食分の弁当づくり体験教室の開催。</li> <li>・高校で朝食摂取についての話と調理実習の開催。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田圏域健やか親子しまね推進計画に基づき、「親と子が健やかに安心して暮らせる社会」を目指し、関係機関・団体とともに、地域づくりや環境づくりに取り組んでいる。</li> <li>・R2年度から「地域周産期母子保健医療連絡会」と名称変更し今後のあり方を検討し、医療と地域の母子保健事業との連携強化を行っている。</li> <li>・周産期や医療的ケア児への支援、災害時の個別支援計画の作成等、個別のケース支援を通して、関係機関との連携強化や体制づくりの検討を行った。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発チラシについて、益田圏域の市町の幼児健診保護者・小中学校の保護者に向けて、印刷・配布。児童虐待防止、早期発見と早期支援にさらに尽力したい。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業の体系化をすすめ、関係機関相互の連携を強化して、適切な時期のきめ細やかな支援に取り組む。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子モ等を活用した情報発信。</li> <li>・産前産後サポートの利用促進。</li> </ul>

益鹿食生活改善	・新型コロナウイルス感染対策をとりながら、次年度も同様に計画。
益田保健所	・養育支援が必要な家庭や災害時の個別支援計画の策定。 ・島根県医療的ケア児支援センターや関係機関との連携。

## ②1 高齢者の疾病予防・介護予防対策

団体名	令和4年度の取組状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨折リエゾンサービスを実施。(50歳以上の大腿骨近位部骨折で手術を受ける患者に対して、再骨折しないように多職種が2年間関わる仕組)</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操の場で、体力測定と合わせて、タブレットを活用したフレイル度チェックを実施。結果返しの際に、パンフレットを活用してフレイル予防の啓発を行った。</li> <li>・リハビリ専門職をはじめ、栄養士、歯科衛生士、薬剤師、保健師といった多職種が参加する地域ケア個別会議を開催した。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防事業として転倒予防教室や食生活改善事業の実施支援をしている。</li> <li>・認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援・ケア向上事業、認知症講演会を実施。</li> </ul>
吉賀町訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防と健康づくりの一体的実施についての研修受講。</li> <li>・関係者での検討会の実施。</li> </ul>
益田地区栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田後期高齢者歯科口腔健診後の在宅訪問（低栄養予防）県栄養士会栄養ケアステーション事業</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーラルフレイルの早期発見に向けて啓発冊子「オーラルフレイルを予防しよう！」を作成し、圏域市町に配布し、周知。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅にて生活指導。</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市主催の講演会に医師を11回派遣した。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>&lt;益田市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館やサロンと連携し、高齢者が多い集まりを活用し、簡単で栄養のあるおやつやレシピの提供を行い、フレイルやロコモティブシンドロームの予防を行った。</li> <li>・簡単で栄養のあるおやつ作り教室を開催し、学習した。</li> </ul> <p>&lt;津和野町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で、シニアカフェを開催。フレイル、ロコモ、認知症予防として、骨太レシピなどの調理、食事の提供、脳トレやストレッチを実施。介護予防事業として、各地区単位で年2回、夏バテ・熱中症予防などをテーマとして講話や食事の提供。</li> </ul> <p>&lt;吉賀町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアカフェでは高齢者の脳卒中の発症が多いことから、減塩につながり、簡単にみそ汁が摂れるみそ玉づくりを行った。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田圏域健康長寿しまね推進事業の各部会活動や健康づくり活動表彰をとおして、ロコモティブシンドロームやフレイル予防等の啓発を行った。</li> <li>・しまね健康寿命延伸プロジェクト事業の中で、「+1プラスワン」の取組の周知を行った。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田地区栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、令和4年度、実施できなかった中山間地における食生活支援</li> </ul>

益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町の集いの場で、オーラルフレイルの予防のための普及啓発の拡充。栄養改善とオーラルフレイル予防のための講師（栄養士・歯科衛生士）派遣事業を継続。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内関係課と連携し、フレイル予防・対策の充実を図る。</li> <li>・いきいき百歳体操の場に、リハビリ専門職を派遣し、痛みへのアプローチや、より効果的で安全に体操を継続できるよう支援を行う。</li> <li>・地域ケア個別会議の開催を継続する。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の開始。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策を講じ、引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、地区活動を主軸としながら、活動を充実させる。</li> <li>・食改員自身が学習し、市民へ伝達する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、健康長寿しまね推進会議を中心に、ロコモやフレイル予防について啓発する。</li> </ul>

## ②難病等保健・医療・福祉対策

団体名	令和4年度の実施状況
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病に関するサロンや専門相談、研修会開催等の情報を、広報やお知らせ放送等を利用し周知している。</li> <li>・難病患者を含めた障がいに関する理解啓発の取組を行っている。</li> <li>・難病患者に関する災害時の個別支援マニュアルを関係機関と連携して作成し、情報共有している。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者のうち、停電時において生命の危機にあたる方を抽出し、指定難病受給者においては保健所保健師と同行訪問の実施。広報等で難病相談及び難病専門相談の掲載。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応について、個別支援計画策定。</li> <li>・停電時の訓練を対象宅で実施。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田圏域難病対策地域協議会を開催し、難病患者の医療、療養支援体制について関係機関と情報・課題を共有し、課題解決に向けての協議を進めている。</li> <li>・圏域内の難病医療協力病院は4ヶ所指定されている。(益田日赤、医師会病院、津和野共存病院、六日市病院)</li> <li>・難病患者・家族連絡会では4団体患者家族交流会を実施し、新型コロナウイルス感染予防に考慮しながら、参加者同士の交流の場をもった。そこには、難病患者・家族会、難病ボランティア、リハビリテーションカレッジ島根の生徒の参加があった。(R4.10.17開催)</li> <li>・難病患者の災害時要支援者リストを作成し、災害時の備えについて個別支援計画を市町や関係者と連携し作成に努めている。</li> <li>・市町難病対策担当者連絡会では、在宅難病患者の災害時の支援体制について取組を共有し意見交換を実施した。(R4.11.11開催)</li> <li>・非常用電源確保事業では、市町にも非常用電源が設置された。また、保健所所有の非常用電源を吉賀町へ貸し出し。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き理解啓発に関する取組を行い、関係機関と連携して難病患者への適切なサービス等を提供できるよう努める。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病患者の災害時支援者については、市町や関係機関と連携し、個別支援計画の作成を進めて行く。</li> </ul>

## ②③感染症保健・医療対策

団体名	令和4年度の実施状況
益田赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症に対する入院治療、発熱外来、メディカルチェック、予防接種、健康観察などを実施。医師会病院、津和野共存病院、六日市病院と合同で、新興感染症等の発生を想定した訓練を実施。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定医療機関と連携し、各種予防接種を実施した。</li> <li>・接種対象者への個別通知や健康ガイドブックにて受診勧奨を行った。</li> <li>・新型コロナ感染症状況に応じ、お知らせ放送やホームページによる感染対策の周知を行った。</li> <li>・様々な感染症について、お知らせ放送やホームページ等で周知啓発を行った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイルス性肝炎陽性者に対するフォローアップ事業の実施及び、肝炎医療コーディネーターの研修会受講。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児、成人の定期接種は例年通り実施。</li> <li>・コロナ対応、コロナワクチンの実施。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP作成</li> </ul>
益田市医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナワクチン接種事業への参加、行政や関係機関との協同体制づくり。</li> <li>・新型コロナワクチン接種準備部会を4回開催した。</li> <li>・診療・検査医療機関への登録延長。(21医療機関)</li> <li>・個別接種医療機関への登録(34医療機関)。</li> <li>・集団接種への参加(23医療機関 25名)。</li> <li>・自宅療養者サポート医療機関への参加(14医療機関)。</li> <li>・マスクみやホームページへの感染防止のための啓発活動を行った。</li> <li>・年末年始発熱外来の実施(12/31, 1/3 計63名)。</li> </ul>
鹿足郡医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱外来の設置及び最新情報の提供。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>＜吉賀町＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したマニュアルに基づき調理実習を実施。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎検査やHIV検査を月2回実施している。エイズデー(12/1)には、臨時検査も実施した。</li> <li>・結核については、初回訪問と服薬指導、管理検診・接触者検診も確実に実施している。(LTBI(潜在性結核感染症)を含めて、R4年は9件あり)</li> <li>・高齢者施設に結核の啓発パンフレットを配布した。</li> <li>・肝炎医療費助成事業の実施。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症については、法律に従い、入院調整から自宅療養、療養解除まで患者管理を実施した。また、高齢者福祉施設や院内クラスターなどにも対応した。</li> </ul>

団体名	今後の計画等
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所や医療機関と情報を共有し、市民に向けて、地域の現状に応じた情報をタイムリーに発信する。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・带状疱疹ワクチン接種費用助成事業を令和5年度より開始予定。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎、HIV検査の継続的な実施。</li> <li>・結核管理の徹底。</li> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症の対応をするとともに、今後新興感染症が発生した際の的確な対応ができるよう準備を行っていく。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更がスムーズに行われるよう関係機関と情報共有しながら対応していく。</li> </ul>

## ②④食品の安全確保対策

団体名	令和4年度の実施状況
益田地区栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、研修会を開催することができなかった。(HACCPによる衛生管理義務化及び食品表示について)</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生月間に食中毒予防について、広報に記事を掲載し、啓発を行った。</li> </ul>
益田市連合婦人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師による、美都で暮らす健康法（食偏）と題する、食事についての講話。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>＜益田市＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症や食中毒予防の学習会を開催した。</li> <li>・食改員自身で判断が難しい場合は、市や保健所に確認しながら安全な食の提供ができた。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行により、増加したテイクアウト形態での食品の取扱いについてチラシ等を配布し注意喚起を図った。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な手法により、食中毒防止についての啓発を継続する。</li> </ul>
益鹿食生活改善	<p>＜益田市＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、行政、関係機関・団体と連携し、専門職の指導のもと学習する。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒の発生防止のために、食品衛生月間等を通じて引き続き啓発を行っていく。</li> <li>・食品等事業者に対してHACCP（ハサップ）方式の衛生管理について施設立入時等を活用して助言・指導を行っていく。</li> </ul>

## ②⑤健康危機管理体制の構築

団体名	令和4年度の実施状況
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、感染症対策本部会議を開催。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者の個別計画策定。</li> <li>・社会福祉協議会、よしかの里と災害時の連絡会議の開催。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策に基づいて、対応する。</li> </ul>
益田支部	
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益田地域災害医療対策会議を開催し、初動について市町を中心に確認した。</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、関係団体と連携しながら対応を行った。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者名簿の更新。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、益田地域災害医療対策会議を継続する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の対応経験を基に、今後新興感染症が発生した際に的確な対応ができるよう準備を行っていく。</li> </ul>

②⑥保健医療従事者の確保及び医療・保健・福祉情報システムの構築

団体名	令和4年度の実施状況
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金貸与医師と面接を行った。</li> <li>・地域医療教育推進事業、先輩から後輩へ伝え学ぶ授業、石見高等看護学院との連携など、学童期から地域医療に関心を持ってもらうための取組を行った。</li> </ul>
津和野町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法人と連携して、病院や看護学校、医療技術職及び介護職員養成施設を訪問し、町立病院等の施設をPRしている。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護従事者確保支援補助金による町内の医療機関・介護事業所における従事者確保の取り組み支援。</li> </ul>
益田地区栄養士会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町栄養士業務の支援</li> </ul>
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町における歯科保健事業に関わる歯科衛生士不足への対応策を模索している。</li> </ul>
島根県訪問看護ステーション協会益田支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため、看護協会主催の研修会に参加。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学生を対象に春と夏に地域医療実習を管内医療機関と協力して受け入れ、医師確保に努めている。</li> </ul>
団体名	今後の計画等
益鹿歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等に参加した歯科衛生士のうち市町の歯科保健事業への協力を希望する歯科衛生士を把握する事業を提案し、検討する。</li> </ul>
益田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、オンラインなども検討し、遠方にいる医師とも面接を行う。</li> <li>・将来、医療従事者を目指す子どもを増やすための取組を継続する。</li> </ul>
吉賀町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護従事者確保支援補助金による町内の医療機関・介護事業所における従事者確保の取り組み支援。</li> </ul>
益田保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、医学生を対象に春と夏に地域医療実習を開催する。</li> </ul>

## 益田圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】令和5年1月31日(火) 19時30分～21時05分

【場所】益田合同庁舎 大会議室 (Z00m 会議併用)

【出席者】病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション協会、老人福祉施設協議会、介護支援専門員協会、介護老人保健施設、社会福祉協議会、管内市町等

## 【議事内容】

- 1 地域医療構想の進捗状況について
- 2 紹介受診重点医療機関について (概要説明)
- 3 公立病院の経営強化プランの作成について (概要説明)
- 4 医療・介護連携の状況について
- 5 意見交換

## 【主な意見の要旨・協議結果について】

## 1 について

- 回復期・慢性期病床の減少。
- 慢性期患者の受け皿としての六日市苑 (老健) 40 床減少。
- 益田圏域に住み票がある患者で、県外・圏域外の療養病棟に入院している人が多い傾向にある。
- 六日市病院では、慢性期病床 60 から 49 床とダウンサイジング。  
今後、慢性期病床も老健も減少する。
- 吉賀町では、吉賀町医療計画を変更し、公設民営化を目指す。  
一般病床 50 床。うち、地域包括 20 床を予定。

## &lt;意見&gt;

- ・慢性期の受け皿としての老人施設をなくしてもよいのか。六日市苑がベッド数を減らしたが、特老がこのままどんどん減ることになっても良いのだろうか。益田地域は経済的にも脆弱なため、経営が悪化しこのままでは破綻する。施設が破綻しないよう地域で何かしら考えていかなければならない時期に来ているのではないか。ますます、県外・圏域外に患者がどんどん流れてしまう。
- ・介護は人材不足がある。病院のベッド数を減らす一方で、施設で補える体制をとったり、市町で何かしらの規制をかけるなど方策も必要。

## 2 について

- 紹介受診重点医療機関、外来機能報告の説明

## &lt;意見&gt;

- ・益田地域の診療所に、産婦人科はなく、小児科、泌尿器科も少なくさらに減って

きている。医師の高齢化も進んでいる。益田日赤から開業医に紹介したいが、紹介先が限られる。特に小児科は、益田日赤の小児科外来の受診が増加している。外来患者を減らそうと思っても、減らない。受診できる医療機関が益田日赤しかなくなるのではないかと思う。

### 3について

○公立病院の経営強化プランの作成についての説明

○現時点で該当の医療機関は、津和野共存病院。令和5年度末には策定予定。

### 4について

○医療連携推進コーディネーターの活動報告

### 5意見交換 テーマ；在宅医療・施設療養の充実について

○益田市は、診療所の高齢化、後継者不足で閉院が続いている。①医療従事者の確保  
②在宅医療への支援③医療・介護連携の推進に力を入れている。

○津和野町では、高齢者の転出・人口減少を防ぐために、医療近設型住宅（病院の近くに高齢者住宅を建設し、往診しやすい体制づくり）を検討している。

○吉賀町では、開業医が往診体制をとっているが、最後まで在宅で過ごすことは困難。訪問看護のマンパワー不足により要望に応えられない現状もある。まずは、人材不足を解消することが必要である。

○療養病床の減少、県外の患者流出の現状をみると、特老に配置医を置き、看取りや緊急時の医療の必要性の判断ができる体制が必要である。老健（中間施設）をもっと充足する必要があるのではないか。

○訪問看護ステーションはスタッフ不足で危機的な状態。24時間体制をとらない、業務を縮小してなんとか運営しているところもある。職員も高齢化で若い人材がいない。県東部との温度差を感じる。在宅医療の必要性は高まっている。新規の患者や医療機関の求めるニーズに対応できない。潜在看護師の掘り起こしが必要かと思う。

○ケアマネも人材不足。デイサービスもショートステイなども縮小傾向。社会資源があれば自宅で生活できるのに、県外などに出て行かざるを得ない状況である。

○老人施設では、コロナ対応で職員が疲弊している。5類に移行することでの不安が介護業界の中で広がっている。職員数に余裕はない。危機的な状況。これまで、医療・介護ともに自由競争をしてきたが、共倒れにならないためにも役割分担やニーズの見直しを行い、共有していく必要がある。

○医療も看護も介護も人材不足は、かなり深刻な問題である。専門職の養成が必要。

# 病床機能報告の状況

資料3-2

## 1. 益田圏域全体の年度別推移

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	総数
令和元年度	40	346	196	196	0	778
令和2年度	40	346	150	152	26	714
令和3年度	40	346	153	152	0	691
令和4年度【暫定】	40	346	153	138	0	677
2025年必要病床数	47	214	179	173		613

## 2. 令和3年度の内訳

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	総数
益田日赤	40	236	0	0	0	276
医師会病院	0	60	104	92	0	256
津和野共存病院	0	0	49	0	0	49
六日市病院	0	50	0	60	0	110
圏域全体	40	346	153	152	0	691

## 3. 令和4年度【暫定】の内訳

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	総数
益田日赤	40	236	0	0	0	276
医師会病院	0	60	104	89	0	253
津和野共存病院	0	0	49	0	0	49
六日市病院	0	50	0	49	0	99
圏域全体	40	346	153	138	0	677

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	急性期の患者に対して、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能。（救命救急など）
急性期機能	状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能。病気になり始めた頃で、症状が現れる段階。症状によっては検査や処置、手術などが必要になる。
回復期機能	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。急性期治療を受け、病状が安定しはじめた発症・術後1～2ヶ月後の状態。
慢性期機能	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能。病状が比較的安定している時期。病気の再発予防や体力の維持を目指し、長期にわたる治療を続ける場合が多い。

益田圏域の慢性期患者の受け皿

施設系サービス	令和3年度
介護老人福祉施設	440
介護老人保健施設	<b>265</b>
介護医療院	44
介護療養型医療施設	0
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	98
合計	847

施設系サービス	令和4年度
介護老人福祉施設	440
介護老人保健施設	<b>225</b>
介護医療院	44
介護療養型医療施設	0
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	98
合計	807

出典) 島根県高齢者福祉課ホームページ

# 令和4年度 第2回医療連携推進コーディネーター 情報交換会

(令和5年3月6日)

公益社団法人 益田市医師会  
医療連携推進コーディネーター 齋藤裕子

## 令和4年度事業活動

	結 果
(1) 保健所との定期的な意見交換	コロナ感染症拡大にて8月は中止となったが、毎月定期的に開催（2月までに10回実施）幅広い情報交換ができ、会議以外でも相談がしやすい関係づくりができています
(2) 医師との対話を通じた課題把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所訪問はコロナ禍で、実施不可にてアンケートを実施し、意見を頂いた。</li> <li>回収率：86.6% 訪問希望の診療所へは訪問を行った。 訪問4件実施</li> <li>コロナ対応と通常診療とで多忙を極めておられる</li> </ul>
(3) 圏域または市町村単位での医療介護連携に向けた会議への参画	<p>コア会議は定期的を開催（2月までに8回開催） 保健所とも合わせて情報交換を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療介護連携推進協議会：第1回は書面会議、第2回は2月に開催</li> <li>・圏域内医療連携実務者会議：12月に第1回を開催（ハイブリット形式） 「地域完結率を高める」についての実態を報告、現状の課題等を共有</li> <li>・訪問看護ステーション益田支部会に参加</li> <li>・益田地域保健医療対策会議 部会に参加（1月）</li> <li>・当施設内の、急性期から慢性期までの病床を有効活用するためのカンファレンス、在宅を担う居宅介護支援事業所のミーティングに参加</li> </ul>

## (1) 保健所との定期的な意見交換

コロナ感染症拡大に伴い、8月の開催はできなかったが、  
定期的に行なわれた（2月までに10回）

開催日：毎月 第4水曜日 10時～

※データの提供、展開へのアドバイス等により情報交換や協議ができた

## (2) 医師との対話を通じた課題把握

現状：4か所の診療所が閉院され、R5年1月現在 診療所（益田市内32）  
※小児科が1か所のみとなった

- コロナ感染症における市中での感染者数も多く、今年度もアンケート調査となった  
アンケート送付：45診療所  
（益田市内、美都、匹見、日原、柿木、六日市、津和野、田万川、須佐、三隅）

回収率：86.6%（39診療所）

結果：意見・要望・不明な点がある（0名）、意見・要望はない（36名）

訪問を希望される医師（5名） 希望されない医師（34名） 訪問実施：4か所

### 【ご意見】

- ＊ 先生方もコロナ禍での診療（検査や感染者への対応、対策会議への参加、ワクチン接種）で繁忙な状況の中でも、労をねぎらっていただいた
- ＊ 地域医療に関して高齢者が多く、医療・福祉共に有資源の中大変だと思う。診療所で診れる範囲を頑張っていきたい

### (3) 圏域または市町村単位での医療介護連携に向けた会議への参画

#### ●圏域内医療連携実務者会議開催（1回開催：12月15日）

近況報告：各施設コロナ感染症のクラスターを経験

テーマ：「圏域内完結率を高めるために」で各施設から情報提供

老老介護、独居、医療度の面から在宅療養が困難な方が増加しており、圏域内での受け入れが困難

→ 圏域外に居住の家族の方のところへ退院となるケースも一定数あり

課題：透析を必要とする患者の療養先が圏域内では不足しており、今後も困難さは増す

#### ●コア会議、在宅医療介護連携推進協議会

在宅医療介護連携推進協議会：初めて集合での会議に参加（今年度の活動より見えた課題から、次年度の取組案が理解できた）

#### ●施設内の会議（病床活用カンファレンス）

他施設からの転院、自施設内での状態に沿った転棟等、調整を図るカンファレンスに毎週参加

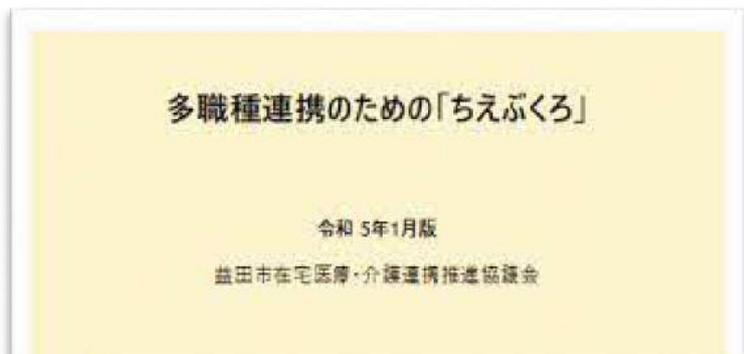
#### ●益田地域保健医療対策会議医療介護部会参加

#### ●訪問看護ステーション協会益田支部会議に参加

在宅療養を支える要となる訪問看護ステーションの体制変化が今年度あった（2か所：24時間対応の休止とみなし訪問看護に変更）。参加するステーションが減少

	結 果
(4) 地域医療介護資源の把握と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種連携のための「ちえぶくろ」更新 ホームページに掲載（益田市のホームページにリンク） ※前回より、診療所、訪問介護、薬局等の閉院・休止が数か所あり。新たに設立が1か所あり</li> <li>介護事業所職員の質向上を図るうえで、「出前講座」を継続実施 8件実施</li> <li>福祉施設訪問：コロナにて中止</li> <li>居宅介護支援事業所訪問：5か所訪問後、コロナにてアンケートに切り替え</li> </ul>
(5) 医師の在宅医療への取組促進に向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍にて医師との意見交換ができなかった→アンケート調査にて意見をうかがう</li> </ul>
(6) 医師と他職種との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療福祉ネットワークを通じ、多職種で定期的な研修会に参加（2か月ごと）</li> <li>多職種研修会の企画開催 「終活カウンセラーから考えるACP」 2月15日 38名参加（医師、看護職、薬剤師、ケアマネ、セラピスト、相談員、看取り士、事務職など）</li> </ul>
(7) 地域住民への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あんきな座談会」の開催 13件依頼あり、3件コロナで中止・お断りとなった 実績：8件</li> </ul>

## (4) 地域医療介護資源の把握と分析



施設名	施設種別	所在地	介護職員										介護士									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
多職種連携センター	介護施設	益田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
多職種連携センター	介護施設	益田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
多職種連携センター	介護施設	益田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
多職種連携センター	介護施設	益田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
多職種連携センター	介護施設	益田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

### [把握項目]

- ・開業医：4名の医師が閉院
- ・歯科医院：1か所閉院
- ・訪問介護：3か所（休止・中止）
- ・通所介護：2か所（休止・閉鎖）
- ・訪問看護ステーション：2か所体制変更
- ・調剤薬局：2か所（休止・閉鎖）
- ・通所介護：1か所開設

## (4) 出前講座

### 出前講座（2月迄）

実施件数：8件

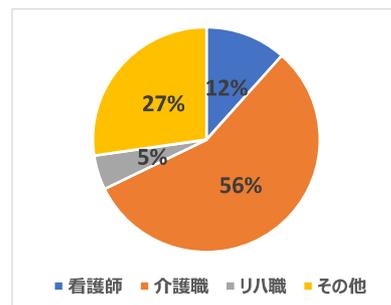
内容：認定看護師、セラピスト、社会福祉士が講師  
褥瘡予防、感染対策、障害のある対象者とのかかわり方、ACPIについて

依頼施設：特老、ケアホーム、開業医等5施設（複数依頼）

参加者：121名

看護師（14名）、介護職（68名）、リハ職（6名）、その他（33名）

※介護職の参加が5割以上を占める



感想：専門職からのわかりやすい内容は理解できたとほとんどが回答

※同施設から複数の依頼があり活用いただいているが、まだ依頼がない施設もあり、広報をしていく必要がある

効果の評価を行えばよい（評価指標等検討）

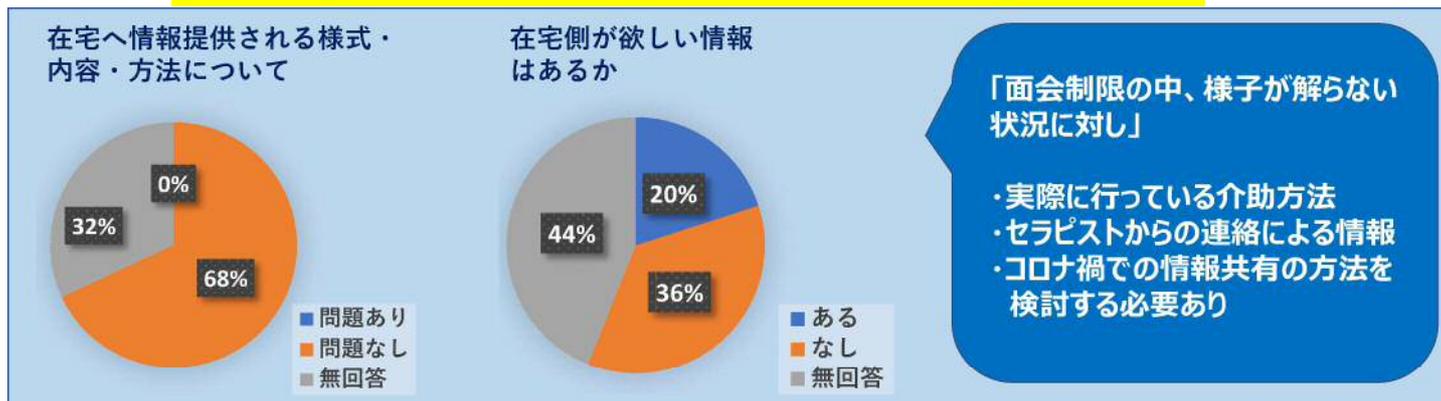
## (4) 居宅介護支援事業所訪問

令和3年度までに確認された地域課題（地域ケア個別会議、多職種研修会からの意見）

- ①医療のリハから次へ繋ぐ（介護サービス等）視点や連携が不十分
- ②理学療法士など多職種との関わりが少ない
- ③在宅療養ノートの運用が進んでいない
- ④病院からの退院時に情報がもっと頂ければいいと思う

の課題把握に対してのアンケートを実施

★入院中にリハビリを実施された方を対象とした、情報共有・活用について質問



## (5) 医師の在宅医療への取組促進に向けた環境づくり

★「看取り代診医」の体制づくりを構築されてきたが、コロナ感染症拡大により、実績が一度もない状況

話あいをもとに、看取り代診医システム運用の詳細を決めていく予定だったが、意見交換会の開催ができなかった

→医師の意見を、アンケート調査にて伺い、まとめておく

- ・看取り代診医体制の進め方
- ・訪問診療についての意見
- ・往診への対応

## (5.6) 医師と他職種との連携強化

### テーマ

### 「終活カウンセラーから考えるACP」

参加者：医師、看護職、介護支援専門員、薬剤師  
看取り士、相談員、事務職等  
講師：終活カウンセラー 堀澤由紀子先生  
日時：R5年2月15日 19:00～20:30  
内容：講演・グループワーク



令和4年度 在宅医療・介護連携推進のため  
多職種研修会  
「終活カウンセラーから考える ACP」

参加無料  
集合及び  
オンライン併用

【日時】▶▶ 令和5年2月15日(水) 19:00～20:30  
【会場】▶▶ 陸田地域医療センター医師会病院  
第一会議室  
及びオンライン：Zoom 使用

- 講師 終活カウンセラー 堀澤 由紀子 先生
- 対象者 医療・介護関係者及び行政機関職員等
- 定員 会場 先着35名(申し込み先着順)
- 内容 講演・グループワーク

お申込み  
お問い合わせ

陸田市在宅医療・介護連携支援センター  
TEL: 0859-22-3611 (医師会病院代表)  
医療介護連携推進部/担当: 斎藤、松下



### 【意見】

♡終活は、安心して生きていくために必要なこと

♡早速友人・職場・家族で終活について話をしてみる

♡自分がエンディングノートを書いてみる 等

## (7) 地域住民への普及啓発

### あんきな座談会 (1月迄)

実施件数：8件

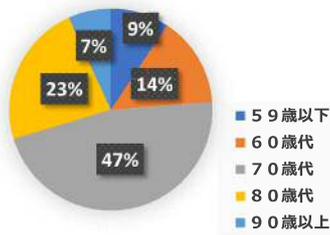
内容：リハビリに関して3件、薬に関して1件、人生会議2件、  
食事・栄養1件、感染症について1件

参加者：118名

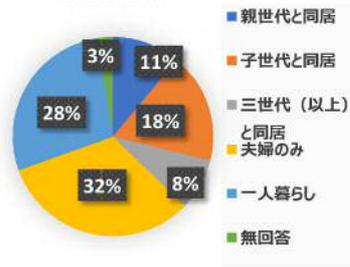


## (7) 地域住民への普及啓発

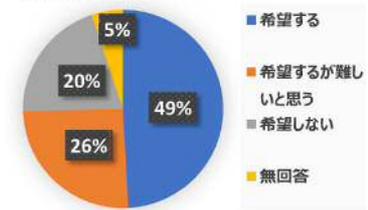
年齢別



家族構成

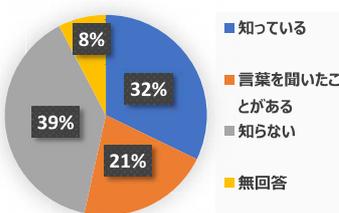
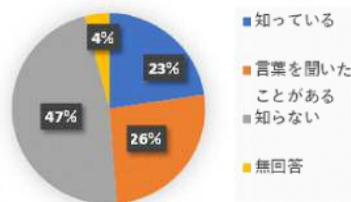


将来、自宅での医療・介護を望む



N=118

ACP認知度

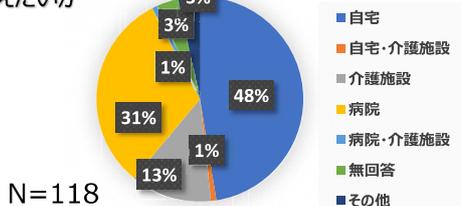


「もしも」話を身近な人としているか



## (7) 地域住民への普及啓発

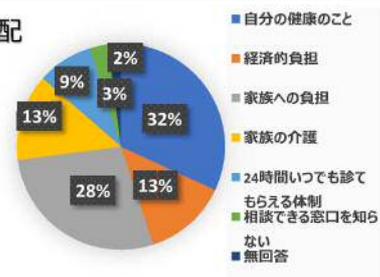
最期をどこで迎えたいか



N=118

医療・介護で最も心配なこと（複数回答）

N=207



## ACPについてのアンケート調査（普及状況）

※R3年とR4年の比較

**性別：**女性の参加が多い

**年齢：**59歳以下の方が減少し、70歳台の方が増加

**家族構成：**割合の変化はなく、①夫婦のみ、②一人暮らし、③子世代と同居の順が多い

**将来自宅での医療・介護を望むか：**希望する方が半数近くに増加

**ACPを知っている：**「知っている」が増加しているが、「知らない」が4割くらいいる

**最期をどこで迎えたいか：**「自宅を希望」が減少して5割くらい。病院・介護施設が微増

**「もしも」話を身近な人としている：**ない方が30%減少し、近々するつもり・しているの方が7割と増加

**医療・介護で心配なこと：**自分の健康と家族への負担の割合が多い

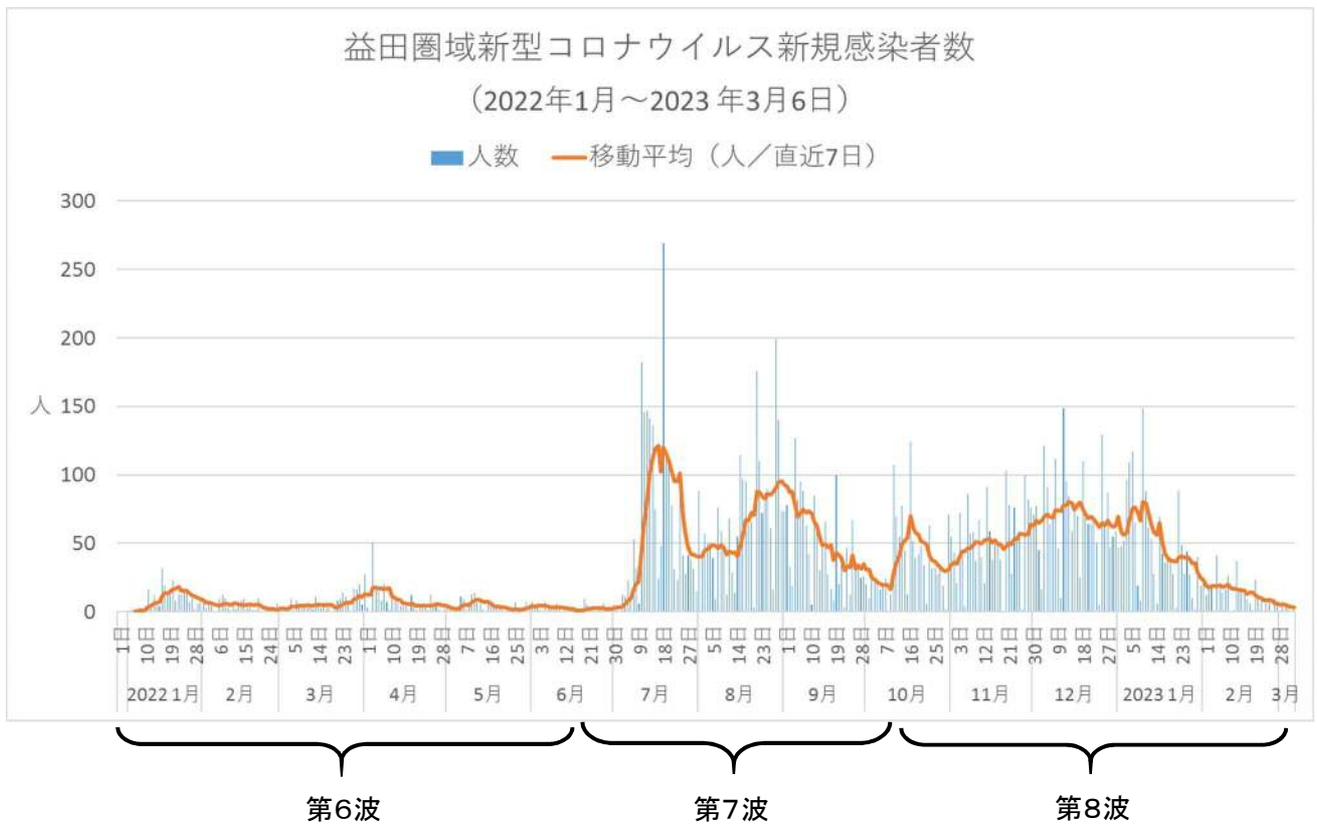
## 課 題 整 理

実施要項項目	把握項目	次年度の課題
(1) 管轄保健所との定期的な意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に開催日を決め、市町とのコア会議が合同でできたことはよかった 第4水曜日 10時～</li> <li>※それぞれが持つデータや情報から課題の掘り下げや裏付けとなる</li> <li>※どのような情報があるかが解った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な会議の開催の継続</li> </ul>
(2) 医師との対話を通じた課題把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所訪問は主としてアンケートでの聞き取りとなった 訪問件数：4か所</li> <li>※有資源の中、高齢者の増加により各診療所ができるところを頑張る必要があるとのご意見を伺った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接対面しての話を伺い、病診連携や地域医療についての現状把握・課題を見出すことが必要</li> </ul>
(3) 圏域または市町村単位での医療介護連携に向けた会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内での病床活用カンファレンスに参加（急性期～慢性期、在宅まで）</li> <li>・在宅を担う居宅介護支援事業所のミーティングに参加</li> <li>・益田市とのコア会議</li> <li>・訪問看護ステーション益田支部会議</li> <li>・在宅医療介護連携推進協議会</li> <li>・益田地域保健医療対策会議</li> <li>・益田地域保健医療対策会議 医療介護部会</li> </ul> <p>※様々な会議で高齢化と人材不足により、在宅サービス提供に関わる資源の減少に危機感を感じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療介護連携に関係する会議に参加</li> <li>・限りある資源の中、必要なサービスの調整が重要</li> <li>・介護にならないための対策</li> </ul>

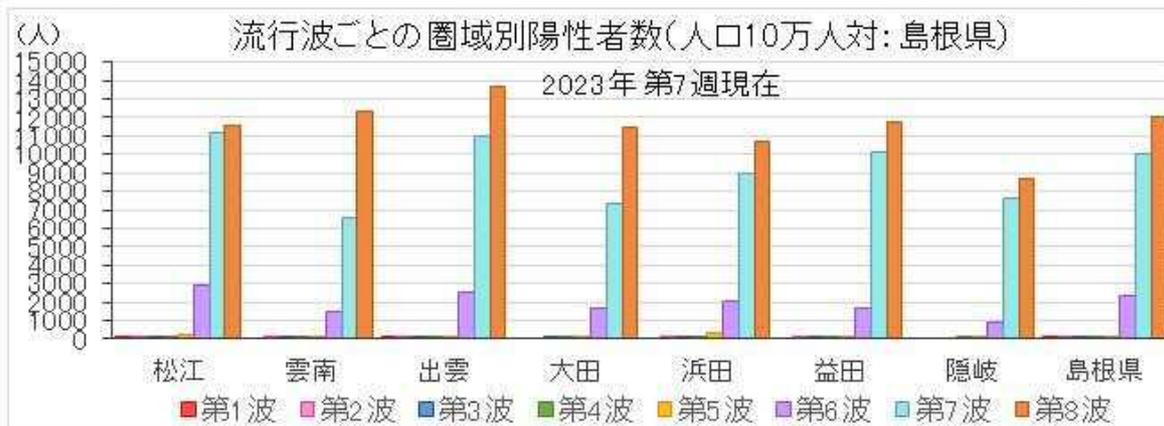
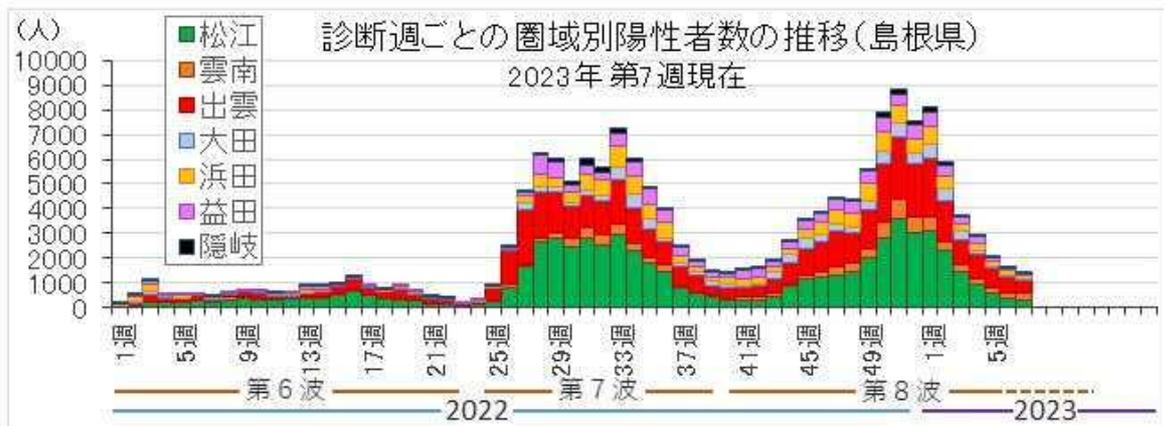
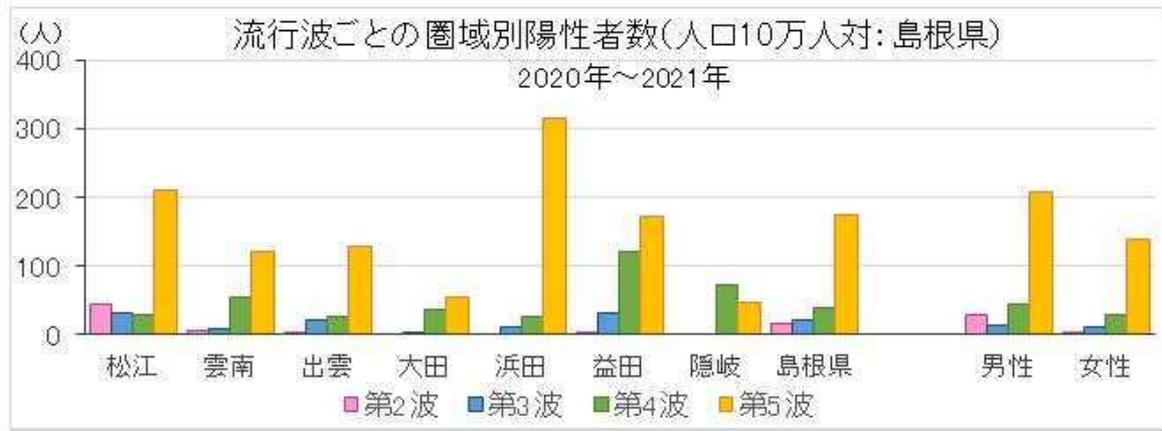
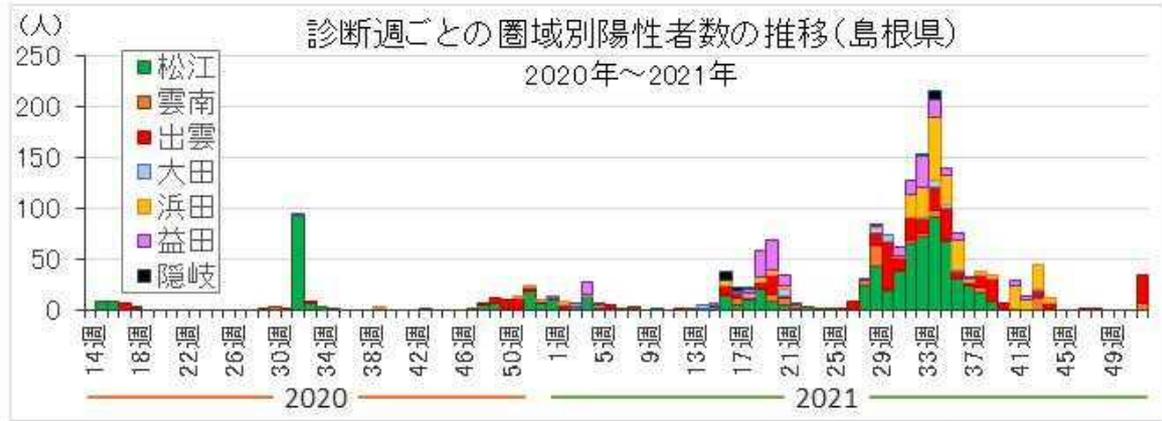
## 課 題 整 理

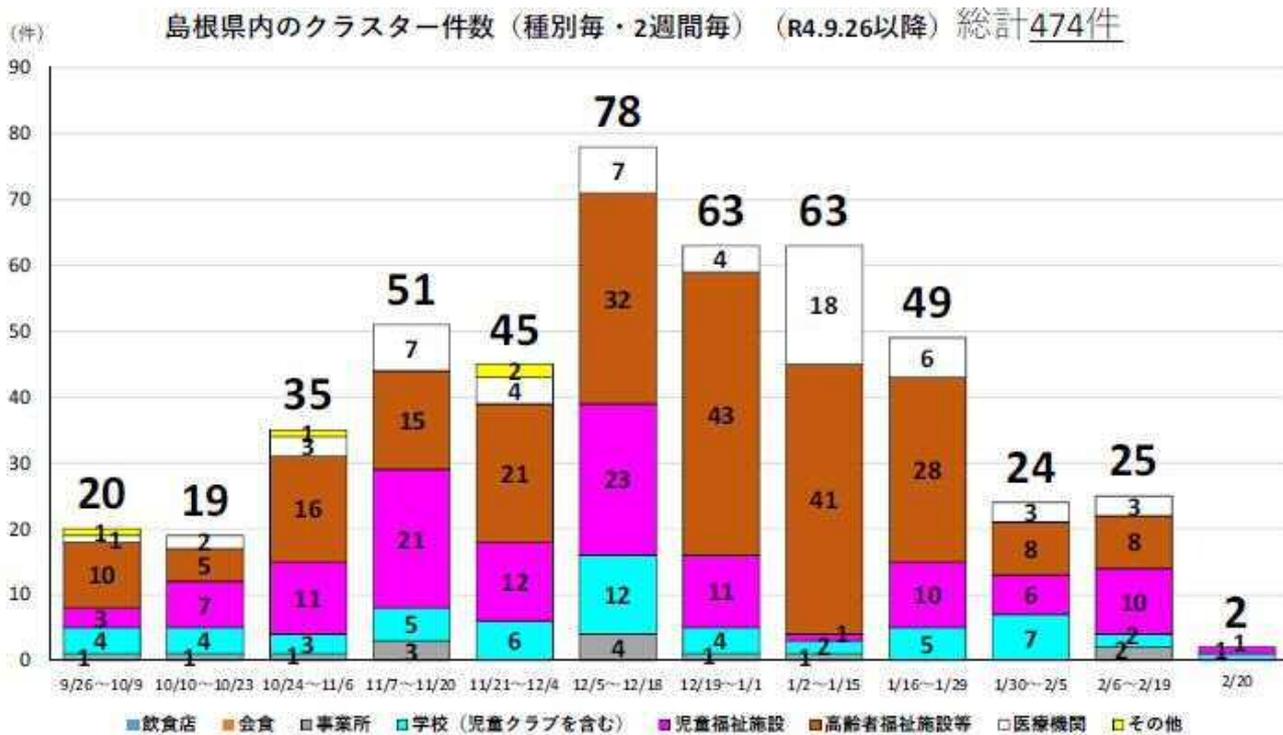
実施要項項目	把握項目	次年度への課題
(4) 地域医療介護資源の把握と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携のための「ちえぶくる」更新により</li> <li>※「診療所」4か所閉院、「訪問介護」2か所休止・1か所閉鎖 「通所介護」1か所閉鎖・1か所休止、「歯科医院」1か所閉院、「調剤薬局」1か所閉鎖、1か所休止等の資源の減少</li> <li>※小児科が市内で1か所となった</li> <li>・出前講座：同施設より複数の依頼あり。圏域内完結率を高めるためにも、福祉施設職員の質向上を図るために「出前研修」をもっと周知・活用する必要がある</li> <li>・居宅訪問：情報提供を受ける側と渡す側の想いのギャップがあることが解った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしの街の医療介護情報」更新</li> <li>・小児科医療の対応</li> <li>・在宅療養を支えるサービス減少の対応策検討</li> <li>・圏域内完結率を高める工夫を検討</li> <li>・情報提供に関する意見交換、対策を検討</li> </ul>
(5) 医師の在宅医療への取組促進に向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問診療医の意見の聞き取りのための集まりができなかった。→アンケートにて想いを調査する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「看取り代診医」システムの再確認</li> <li>・コロナ禍を経た課題に向けた取り組み</li> </ul>
(6) 医師と他職種との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者のACPに関わる前に、医療・福祉従事者が自分のこととして考え、実際に行動することが重要だと認識</li> <li>・オンライン研修が多い中、集合研修も開催できたことで、開催方法も検討する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師のスケジュールを事前に把握したうえで、開催日の日程調整</li> <li>・集合研修を開催し、ディスカッションを通じ連携を図る</li> </ul>
(7) 地域住民への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あんな座談会」を開催することで、ACPの普及も行い少しずつ周知ができていると感じる。もっと若い方への周知活動が必要ではないかと感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ACP普及への新たな取り組みを検討する（益田市と協働）</li> </ul>

益田圏域における新型コロナウイルス感染症感染者数  
(2020年1月1日～2023年2月10日まで)



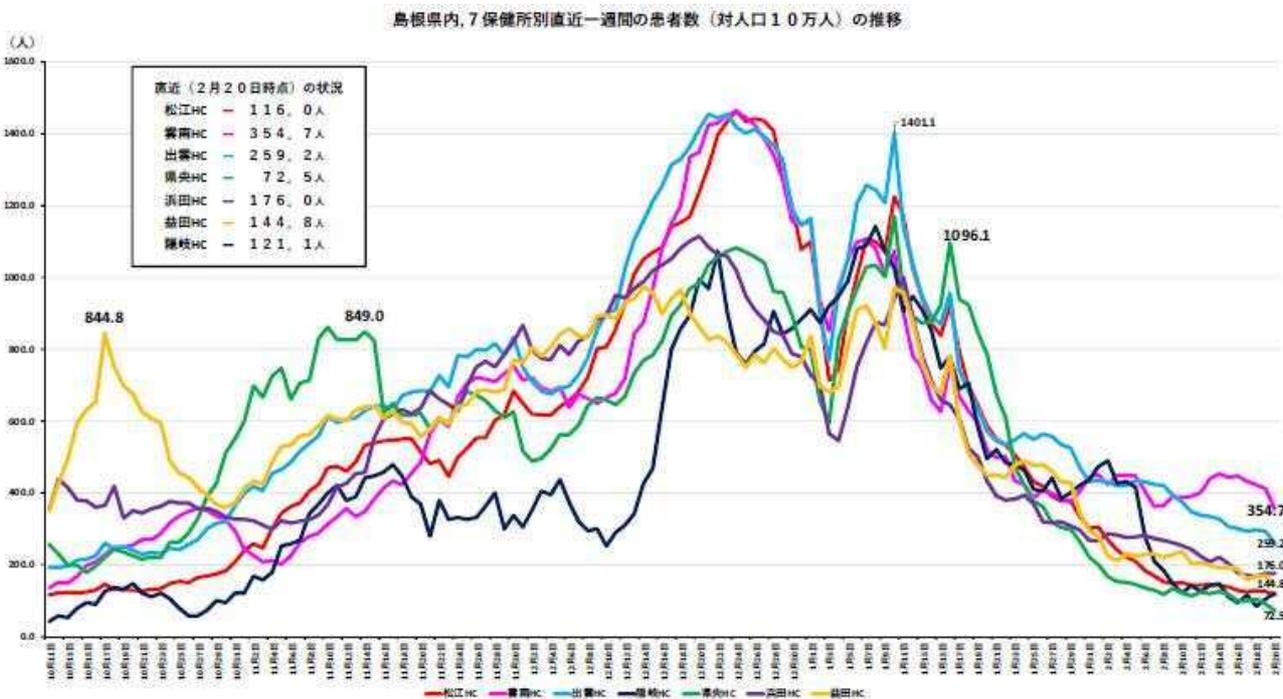
## 島根県における新型コロナウイルス感染症感染者数





※島根県感染症対策室資料  
※直近は2/20のみ集計

### 第8波の保健所別の1週間の患者数の推移(対人口10万人)



※島根県感染症対策室資料  
※公表情報をもとに作成。検査キットを用いた自己検査等で報告となり、しまね県民センターにおいて陽性（検査）された人数を抜いて算出

## 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について

令和5年1月27日  
新型コロナウイルス感染症対策本部決定

### 1. 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ

- 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて」（令和5年1月27日厚生科学審議会感染症部会）を踏まえ、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り、5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「感染症法」という。）上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づける。
- なお、位置づけの変更前に改めて、厚生科学審議会感染症部会の意見を聴いた上で、予定している時期で位置づけの変更を行うが最終確認した上で実施する。
- 今後、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなど、科学的な前提が異なる状況になれば、ただちに対応を見直す。

## 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて」概要 (令和5年1月27日 厚生科学審議会感染症部会)

別紙2

### 1. 新型コロナの感染症法上の位置づけの変更

- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、感染症法に基づく私権制限に見合った「国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれ」がある状態とは考えられないことから、**新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づけるべき。**

### 2. 変更にあたっての留意点

- ・ 位置づけの変更は、私権制限を解除するものであるため、速やかに行うことが望ましいが、変更に伴う各種対策の転換は、国民ひとりひとりの生活や、各企業や医療機関の取組、地方行政に大きな影響を及ぼすこととなるため、**今後3カ月程度の準備期間を置いた上で行うべき。**  
 今後は、季節性インフルエンザにおける診療体制を念頭に、医療体制等を構築していくことを目指すが、**位置づけの変更後も、影響を緩和するための期間を設け、必要な準備を進めながら段階的な移行を行うべき。**
- ・ 今後も感染拡大が生じうることを想定して、高齢者など重症化リスクの高い者を守ることにも念頭に、必要な感染対策は講じていくべき。丁寧なリスクコミュニケーションを行いつつ、ご理解を得ながら**国民、企業等での自主的な判断や取組にご協力いただくことが重要。**
- ・ 影響を緩和するための段階的な移行については、今後政府による検討が必要であり、具体案をできるだけ早期に示していくことが必要。
- ・ 今後、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなど、科学的な前提が異なる状況になれば、ただちに対応を見直すべき。

## 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて」概要 (令和5年1月27日 厚生科学審議会感染症部会)

### 2. 変更にあたっての留意点(続き)

#### (1) 患者等への対応

- ・ 位置づけの変更後は感染症法に基づく入院等の措置は終了することになるとともに、こうした一定の行動制限に伴って来た外来・入院の自己負担分の公費支援については、影響を緩和するための措置により、段階的に移行していくべき。

#### (2) 医療提供体制

- ・ 感染拡大時には、多くの患者が発生する中で、コロナ患者を受け入れる医療機関が限定されていることにより、そこに負荷がかかり逼迫することとなった。入院や外来の取扱いについては、原則として、インフルエンザなど他の疾病と同様となることから、幅広い医療機関でコロナ患者が受診できるよう、必要となる感染対策や準備を講じつつ段階的に移行していくべき。

#### (3) サーベイランス

- ・ 位置づけの変更後も、流行を繰り返すことが想定されることから、発生動向の正確な把握は引き続き重要。  
患者毎の届出(発生届)は終了し、患者の発生動向については定点サーベイランスに移行するとともに、変異株の発生動向についてはゲノムサーベイランスを継続するなど、重層的なサーベイランス体制を構築し、監視体制を維持する方向で検討すべき。

2

## 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて」概要 (令和5年1月27日 厚生科学審議会感染症部会)

### 2. 変更にあたっての留意点(続き)

#### (4) 基本的な感染対策(マスク、換気、手洗い等)

- ・ 引き続き、効果的な換気や手洗いなどの手指衛生の励行をお願いするべき。
- ・ マスクや換気等の基本的な感染対策については、行政が一律に適用すべきルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重すべき。  
個人の判断に委ねることを基本とし、今では過剰とも言える感染対策はできる限り早期に見直しを行いつつ、新型コロナの特性を踏まえ、有効な方法について、引き続き丁寧に情報発信し、国民の理解と協力を得られるようにすべき。
- ・ 位置づけを変更したとしても、自主的な感染対策が不要となる訳ではない。  
例えば、マスクについては、症状がある場合や家庭内に感染者がいる場合、高齢者など重症化リスクが高い者に感染を広げる可能性がある場合などには、有効であることを国民に向けて周知していくべき。  
また、こうした者に該当しない場合でも、感染が大きく拡大している場合には適切なマスクの着用など、基本的な感染対策の徹底を呼びかけることを検討するべき。
- ・ 感染対策を実施するにあたっては、子どものすこやかな発育・発達の妨げにならないよう配慮が必要。
- ・ ハイリスク者を守るため、高齢者施設等における感染拡大を防ぐことができるよう、地域の支援も得つつ、感染対策に取り組むべき。

3



島根県観光キャラクター  
「しまねっこ」  
島根連許商第5503号

島根  
県民約

# 「まめネット」をご存じですか？

# 50,000人



約800件の医療機関等が参加しています！

## 「まめネット」って何？

まめネットカードをお持ちの皆様の診療情報を様々な医療機関等で共有するネットワークです。県内の医療機関・介護施設等がまめネットで連携し、医療・介護サービスの向上を目指します。

ここがポイント

1

複数の医療機関等にある  
情報がつながる



まめネットカードをお持ちの皆様の診療情報を様々な医療機関等で共有するネットワークです。

ここがポイント

2

安全で適切な  
診察・処置につながる



診療情報が共有できると、他の医療機関等に対して、病歴やアレルギー、服薬状況など多くの情報を即座に伝えることができます。

ここがポイント

3

島根県内全域をカバーし  
安心がつながる



県内病院の8割超、診療所の5割超がまめネットでつながっています！

ここがポイント

4

もちろん無料でつながる



まめネットは島根県事業で構築した行政サービスです。登録料や利用料といった負担はもちろんありません。

こんな事ってありませんか??

飲んでいる薬の  
説明が...

他院を紹介さ  
れたけど...

転勤や  
出張が多く...

この前  
検査を受けた...

複数の病院に  
かかっているのに...

複数の介護サービス  
を受けている...

かかりつけ医と  
専門医の両方を  
受診しているけど...

# まめネットであつながるわ!!

このような方に特におすすめです。

- ☑ 複数の医療機関を受診されている方
- ☑ 複数の薬の処方を受けている方

- ☑ 持病やアレルギーをお持ちの方
- ☑ 小さなお子様、ご高齢の方

例えば、こんな時にも安心です!

## 薬/検査

複数の医療機関にかかった時、  
投薬記録を考慮した薬を処方し  
てもらえる。検査記録を考慮し  
た処置を受けることができる。



## 診察

転院した時、前の医療機関の診  
療内容を確認することができる。



## 救急

救急搬送されたときや、意識不明  
になった場合でも、これまでの既往歴や  
使用中の薬、アレルギー情報が共有さ  
れ、適切な処置を受けることができる。



「まめネットカード」は医療機関等ごとに提示しましょう!

まめネットカードの  
発行手続きをすると、  
すぐにカードを  
受け取ることができます。



参加医療機関(A)でまめネットカードを提示。  
カードの提示は最初の1度だけでOKです。



以降、医療機関(A)で  
まめネットカードの提示は必要ありません。

別の参加医療機関(B)を  
受診の際、窓口で  
まめネットカードを  
ご提示ください。



同意書を記入



(1機関に1度で  
OKです)

まめネットによる情報共有がスタートします。



まめネットであつながるわ!!

## セキュリティも万全

まめネットは、厚生労働省のガイドラインに準拠した厳重なセキュリティのもと運営されていますので、情報漏洩などの心配はございません。また、島根県の監査・指導により徹底した情報の保護を図っています。

島根県健康福祉部 医療政策課

NPO法人 しまね医療情報ネットワーク協会

まめネット

検索

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地  
TEL.0852-22-5796

〒693-0023 島根県出雲市塩治有原町2-19-3 TEL.0853-22-8058 FAX.0853-22-8099  
ホームページ <http://www.shimane-inet.jp>

あなたの医療を守る、「かかりつけ医」「かかりつけ薬局」を持ちましょう。

県民の  
皆さまへ

「まめネット」をご存じですか？

# 患者さんを中心に医療・介護 みんながつながる まめネット



まめネットカードをお持ちの皆様の診療情報を様々な医療機関等で共有するネットワークです。県内の医療機関・介護施設等がまめネットで連携し、医療・介護サービスの向上を目指します。

ここがポイント

1

## 複数の医療機関等にある 情報がつながる



参加機関等一覧

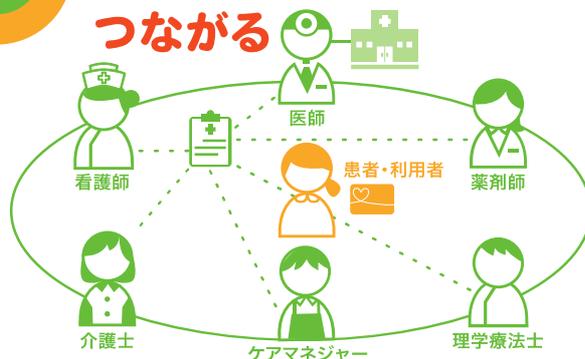


まめネットカードをお持ちの皆様の診療情報を様々な医療機関等で共有するネットワークです。

ここがポイント

2

## 多職種間がスムーズに つながる

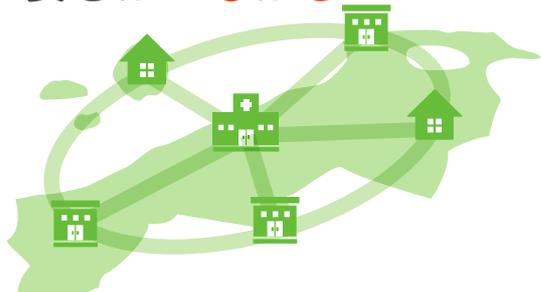


入院・通院・在宅ケア・介護サービスなどの様々な場面で、専門スタッフがまめネットでつながり、スムーズな医療・介護サービスを提供します。

ここがポイント

3

## 島根県内全域をカバーし 安心がつながる



県内病院の8割超、診療所の5割超がまめネットでつながっています。セキュリティも万全です！

ここがポイント

4

## もちろん無料でつながる※



※患者さんの負担は一切ありません。サービスを提供する医療機関・介護施設等は利用料金が必要です。

サービス導入をお考えの医療機関、看護・介護事業者の皆さまへ

# まめネットの活用事例を ご紹介します。



まめネット活用のメリット・活用法を医師、看護師、介護士、ケアマネジャーに伺いました。ぜひ参考にご活用ください。



## 在宅医療提供機関



チーム医療の要に



### 患者さんを みんなで見守る病診連携

連携カルテで患者さんの状況を病院と診療所間で共有。入院前後の状態、治療、処置、検査結果などを基に計画を立てたり、定期受診・検査の前に患者さんの様子を伝えたりと、活用の幅は広がっています。



### 再発や悪化を できるだけ防ぐことに

訪問前に情報収集でき訪問時の聞き取り時間が短縮、追加の治療なども対応可能に。結果的に、リアルタイムで処置が可能になり入院回避につながるなど、患者さんのQOLの向上に。



### 報告・確認を写真付きで 正確に共有

各所からある患者さんの報告や確認が写真付きでできて、とても正確。伝聞ではなく同じ内容を正確にチームみんなで共有することは、患者さんの病状変化の予防や早い対応につながります。

## 訪問看護・介護事業者



現場のやりとりを  
スムーズに



### タイムリーな治療や 処置の実施

訪問前、事前に患者さんの最新の状態を把握できるので、必要なモノ・コトなどの準備が的確かつ非常にスムーズに。また、状態も予測しやすく、様々な備えができるようになります。



### 報告・確認を写真付きで 正確に共有

画像や動画をつけてメッセージを共有できるので、より正確な情報伝達がスピーディーに。バイタル等の入力・確認も訪問先から行え便利。家庭に置く連絡ノートを写真で画像共有するなど、正確な状態把握に努めています。



### 誰でも会話・発言を しやすい環境

電話をかけるまでではないが、ちょっと気になること、伝えておきたいことなどを気軽に伝達できるようになりました。経過観察で良いか?なども電話よりも医師にも聞きやすい。電話でのやり取りがとにかく減りました。

## ケアマネジャー

効率的な  
橋渡しを実現



### 煩雑であった事務作業の省力化 ケアプラン交換サービス

介護支援事業者と介護サービス事業者間で、サービス計画とサービス実績のデータを交換する事が出来ます。介護ソフトと連携していますので簡単・便利。計画から実績までのやり取り、変更といった随時起こりうる伝達/調整までスムーズにでき、繁雑になりません。書類の整理や保管といった業務も本当に楽になりました。



### 文書通信費など大幅なコストダウン 認定情報提供サービス

ケアプランを作成するために必要な介護認定情報等取得する手間と時間が省けるようになりました。介護保険者とのやり取りがほぼペーパーレスで完結。初回の電子データによる情報提供申請書が受理されれば、都度申請は必要なく、審査会後の認定情報は自動的に入ってきます。とても便利なサービスです。



## セキュリティも万全

まめネットは、厚生労働省のガイドラインに準拠した厳重なセキュリティのもと運営されていますので、情報漏洩などの心配はございません。また、島根県の監査・指導により徹底した情報の保護を図っています。

島根県健康福祉部 医療政策課  
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地  
TEL.0852-22-5796

NPO法人しまね医療情報ネットワーク協会  
〒693-0023 島根県出雲市塩治有原町2-19-3 TEL.0853-22-8058 FAX.0853-22-8099  
ホームページ <https://www.shimane-inet.jp>

まめネット  検索